別紙１

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．№	1-①-1						
３．施策	区民の生命を守る総合危機管理力の向上						
４．目指す姿	・異常気象や感染症、いつ起きてもおかしくない首都直下地震等の様々な危機事象に対して、身体・生命に危険が及ばない強靭なまちを多様な主体とともに創りあげている。						
５．評価責任者	危機管理監						
６．施策関連課	防災課、危機管理課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	あらゆる危機に対する基本姿勢					
	取組状況①	総合防災訓練や緊急参集訓練を実施し、職員の防災意識向上を図るとともに、新防災システムを稼働し、情報収集・指示連絡の一元管理を実現					
	取組方針②	あらゆる危機から区民の生命を守る					
	取組状況②	企業と連携して、熱中症予防のための注意喚起を実施し、暑さから非難するための涼みどころを拡大した。また、各救援センター開設運営訓練を２年に１回から毎年実施に変更し、地域防災力の向上に寄与					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「異常気象や感染症、首都直下地震などの様々な危機事象に対する強靭なまちづくりが進んでいる」と思うと回答した割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	22.3	目標値	22.5	22.7	22.9	23.1	23.3
		実績値	21.6				
		達成率	96.0%				
	指標② 活動指標	防災訓練・救援センター開設運営訓練の参加者数【人】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	4,445（2023年度）	目標値	4,650	4,750	4,850	4,950	5,050
		実績値	6,087				
		達成率	130.9%				
	達成状況分析						
	指標①について、誤差の範囲だと思われるが能登半島地震から期間が経過した等の理由により防災意識が若干低下したことにより昨年度比で0.7ポイントの減となった。指標②は、各救援センターでの開設運営訓練を２年に１回から毎年実施に変更し、年間の実施会場数が増えたことから、参加者数も大幅増となった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	熱中症予防についての注意喚起を行うことで、区民の熱中症予防のための意識が向上し、実際に予防行動を取るようになったか。					
	具体的な事例	セーフコミュニティ「高齢者の安全」対策委員会にて、熱中症に関するミニレクチャーが実施された他、クーリングシェルター・としま涼みどころ施設管理者が主体的に「熱中症アンバサダー講座」を受講する等、熱中症予防に向けた行動変化が確認できた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．№	1-①-2						
３．施策	区民防災力の向上						
４．目指す姿	・区民の多様性に応える救援センター（避難所）の開設や運営を区民が中心になって実施している。 ・区民の防災意識が向上し、多くの区民が防災備蓄等を行っている。						
５．評価責任者	危機管理監						
６．施策関連課	防災課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	一人ひとりの防災意識の向上					
	取組状況①	家具転倒防止器具の購入および設置助成事業を開始すると共に、救援センター（避難所）開設運営訓練を実施し、依頼を受けて防災授業や防災講座の講師を行い災害への啓発活動を実施					
	取組方針②	共助による地域防災力の向上					
	取組状況②	地域防災組織に対し、防災訓練実施に伴う奨励金の交付を行うとともに、救援センター（避難所）開設運営訓練の中で地域住民の方からいただいた意見を反映させる形で防災リーダーと女性防災リーダーを活用した避難所開設運営支援員制度を開始					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「災害に備えて家具転倒防止対策や家族分の備蓄をしている」について肯定的な回答をする　区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	35.7	目標値	36.0	36.3	36.6	36.9	37.2
		実績値	35.8				
		達成率	99.4%				
	指標② 活動指標	災害ボランティア登録人数【人】				令和７年度達成状況	C：未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	６２（2023年度）	目標値	65	72	80	90	100
		実績値	42				
		達成率	64.6%				
	達成状況分析						
	指標①については、目標には少し届かなかったが、防災フェス等の各種イベントや救援センター開設訓練の実施、防災授業や防災講座の実施により防災意識の啓発に繋がったため、前年度比で微増したと考えられる。指標②については、2023年より減少した要因として、高齢による脱退や転居等が考えられるが、今後も豊島区社会福祉協議会と連携しながら登録人数を増やすための方策を検討する。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	防災フェス等の各種イベントや救援センター開設訓練の実施の際、アンケートから得られる参加者の声により在宅避難の推進や防災意識の向上に繋がったか					
	具体的な事例	学校法人立教学院が主催のWAKUWAKU防災フェス、日比谷アメニスが主催のイケサンパーク防災フェス、サンシャイン自衛消防訓練、としまこどものつどいわんぱくまつりにブース出展し、さらにDOKIDOKI防災フェスを開催した。また、救援センター（避難所）開設運営訓練のアンケートの中で「全救援センターで年1回訓練を実施して欲しい」という声があがるなど、区民にも防災訓練の意義が浸透してきていると感じている。また、こうした声を受け、今年度から全35ヶ所で年1回の開設運営訓練も実施し、在宅避難の推進や防災意識の向上に繋げた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．No.	1-①-3						
３．施策	災害時避難者・災害時要援護者対策						
４．目指す姿	・震災発生時や水害等の発生が予見される場合に、すべての区民が適切な避難行動により安全な場所に避難し、避難先において安心して避難生活をおくることができる。						
５．評価責任者	危機管理監						
６．施策関連課	防災課、福祉総務課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	あらゆる区民の安全な避難生活を確保する					
	取組状況①	女性や子ども、障害者等の視点を踏まえた備蓄物資を各救援センターに配備し、要配慮者向けの備蓄物資を拡充した。					
	取組方針②	避難行動要支援者への支援体制構築					
	取組状況②	・福祉救援センターの開設マニュアル（３類型毎）を整備した。 ・発災初期における要支援者等への対応のため、災対福祉部の役割毎に65名の職員を指定した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	災害時において、救援センターでの活動に協力する意向を示した防災士を配置した人数 【人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	0	目標値	35	52	70	88	105
		実績値	38				
		達成率	108.6%				
	指標② 成果指標	個別避難計画の作成支援を希望した避難行動要支援者に対する計画作成割合【%】				令和７年度達成状況	D：大きく未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2025年度開始	目標値	50.0	90.0	90.0	95.0	95.0
		実績値	0.0				
		達成率	0.0%				
	達成状況分析						
	指標①：令和7年度から、それまで実施していた防災士の資格取得助成の対象人数を拡充し、目標値の達成に繋げることができた。 指標②：個別避難計画作成支援委託の契約は締結したが、契約時期が遅くなったことに加え、作成支援希望者と契約先との調整が整わず、委託による作成支援の実績はなかった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	災害時要援護者の安否確認及び避難所における環境改善					
	具体的な事例	・民間等の事業者も参加した、災害時要援護者名簿管理ツールを使った安否確認訓練を実施し、参加者の意見を踏まえ、入力作業効率化のため、ツールの改修を行った。 ・福祉救援センターにおいて、災害時要援護者向けの備蓄物資を配備し、避難生活の環境改善を図った。また、開設予定施設において、開設・運営訓練を実施し、職員の習熟度の向上を図った。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．No.	1-①-4						
３．施策	災害に強い都市の実現						
４．目指す姿	・建物の不燃化・耐震化が図られ、道路、公園等の整備が進み、誰もが住み続けられる安全・安心なまちづくりが進んでいる。						
５．評価責任者	都市整備部長						
６．施策関連課	地域まちづくり課、建築課、道路整備課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地震に強い地域の基盤づくり					
	取組状況①	・老朽建築物の除却・建替えに伴う助成を166件行った。 ・救援センターにつながる、西巣鴨橋の架け替え工事が、令和8年3月に完了した。					
	取組方針②	都市型水害の未然防止					
	取組状況②	都市型水害の軽減等を図るため、透水性舗装の整備や雨水流出抑制施設の設置に関する指導要綱、雨水浸透施設設置工事費助成要綱を制定した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	重点整備地域内の不燃領域率【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	67.8（2023年度）	目標値	70.0	70.0	70.0	70.0	70%以上
		実績値	68.9				
		達成率	98.4%				
	指標② 成果指標	狭あい道路拡幅整備率【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	40.1（2023年度）	目標値	42.0	43.0	44.0	45.0	46.0
		実績値	41.5				
		達成率	98.8%				
	達成状況分析						
	①各助成金制度が令和７年度末終了予定であったため、駆け込み需要により助成申請件数が例年より増加し、不燃領域率の向上につながった。助成制度が５年間延長されたため、目標の70%達成に向け、パンフレット配布や促進イベント等の周知活動を継続していく。 ②事前協議件数は増加しているが、物価・人件費の高騰や資材不足等の影響により工期の遅延が生じた結果、整備完了件数は減少し、令和６年度と同等の０．７ポイントの上昇に止まった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・道路・公園などのハード整備や区民等で構成されるまちづくり協議会等の活動によって、区民の防災意識の気運醸成につながったか。 ・区内の橋梁の健全度が高まり、利用者や地域の安全性が確保されたか。 ・透水性舗装の整備や河川監視システムを構築することで、区民の水害への安心感につながっているか。					
	具体的な事例	・無電柱化事業への理解が進み、防災の観点から、無電柱化の推進や早期の整備完了を望む声がある等、区民の防災意識の向上を感じている。 ・まちづくり協議会で実施した池袋防災館での体験学習では、参加者から初期消火の重要性に気づいたとの意見が得られた。 ・橋梁は5年に1度の法定点検を実施し、予防保全型の管理を前提に、健全性Ⅰ～Ⅱを維持し、安全性を確保している。3月の西巣鴨橋開通式典では、約400名ほどの地域住民の参加があり、「無事工事が完了し、安心した」といった声が多く聞かれた。 ・透水性舗装の整備や雨水桝の清掃を行うことで、浸水被害の軽減に貢献した。台風等の接近時には、土のうの配布要望を受け、速やかに玄関先まで配布した際「自宅まで配送してくれて助かります」等の発言を受けた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．No.	1-②						
３．施策	地域における区民参画・協働の推進						
４．目指す姿	・国籍を問わず多様な世代が地域活動の担い手として参画し、地域コミュニティが活性化することで、地域における人々とのつながりや信頼関係が深まり、安全・安心、幸福度が高まっている。 ・公民の協働や地域団体の相互連携が進み、地域課題の解決に向けて共に協力し合っている。						
５．評価責任者	区民部長						
６．施策関連課	区民活動推進課、地域区民ひろば課、東部区民事務所、西部区民事務所						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地域コミュニティ（町会、区民ひろば、NPO等）の活性化					
	取組状況①	・区民ひろばにおいて、基盤事業の取り組みを強化するとともに新たな区民ひろば構想に基づき子どもを対象とした事業などを実施することで、地域コミュニティの維持・拡大を図った。 ・町会のデジタル化推進により、町会活動の周知を強化し、多様な世代の参画を促した。					
	取組方針②	多様な主体による地域活動への参加促進					
	取組状況②	地域活動の開始や団体の設立、資金調達やAI活用など、実践的なテーマによる講座を開催し、地域活動の活性化を促した。併せて、社会貢献活動を行う地域団体、企業、大学などが一堂に会する交流イベントを実施し、多様な主体によるネットワーク構築を支援した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「様々な地域活動団体やNPO、企業、大学、行政等の連携によるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	23.3	目標値	24.0	25.5	27.0	28.5	30.0
		実績値	18.1				
		達成率	75.4%				
	指標② 成果指標	区とNPO等との協働事業の実施数【件】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	229（2023年度）	目標値	250	260	270	280	290
		実績値	268				
		達成率	107.2%				
	達成状況分析						
	指標①の区民意識調査結果は、目標値を5.9ポイント下回り、令和5年度（計画策定時）と比較しても5.2ポイント減少した。一方、指標②の協働事業実施数は目標を達成（達成率107.2%）した。全268件のうち20件が新規で、シティプロモーション、区民ひろば、環境、文化など幅広い分野で企業との協働も進んでいる。協働の実績が伸びる一方、区民の体感（調査結果）への反映までには至っていない。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・区民ひろばにおいて新たな利用者層を獲得し、多世代の交流を促進できているか。 ・町会活動の周知及び町会間の情報交換が強化され、町会活動への参画を促しやすい状態になっているか。					
	具体的な事例	・区民ひろばにおいてプロスポーツチームや大学生による子ども向けスポーツ体験事業を実施し、利用の少なかった子ども・若年層の利用を促進した。参加した子どもからは身体を動かす事業への喜びの声も寄せられており、この時間を目的に区民ひろばに来るようになった子どももいた。 ・伴走型支援により町会HPや公式LINEを作成した町会からは、情報発信しやすくなることにより、加入促進につながるとの声があった。情報交換プラットフォーム参加町会からも、町会間の情報交換ができて有用であるとの声があった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．№	1-③						
３．施策	地域における活動・交流拠点の充実						
４．目指す姿	・区民ひろばや地域活動交流センターなど地域活動の拠点において、様々な区民のニーズを捉えた事業が展開され、区内で活躍する多様な地域人材や地域団体の連携及び交流が活発に行われている。						
５．評価責任者	区民部長						
６．施策関連課	区民活動推進課、地域区民ひろば課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	新たな区民ひろばの実現					
	取組状況①	新たな区民ひろば構想に基づき、「子どもがいきいきすごせるひろば」池袋本町、「地域で支え合うひろば」要、ひろばカフェをモデル事業として実施した。					
	取組方針②	多様な区民や団体の活動・交流の促進					
	取組状況②	地域活動交流センターにおいて、対面とオンラインを組み合わせた活動発表や交流会を開催し、登録団体間の情報交換やコミュニケーションによる交流促進を図った。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	区民ひろばの登録者数【人】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	21,609（2023年度）	目標値	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000
		実績値	21,748				
		達成率	94.6%				
	指標② 成果指標	「地域活動のための施設やスペースがあり、子どもから高齢者までの多様な世代が交流している」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	31.3	目標値	32.0	32.5	33.0	33.5	34.0
		実績値	30.2				
		達成率	94.4%				
	達成状況分析						
	・【指標①】計画策定時より上昇したが、目標値に届かなかった。新たな区民ひろば構想のモデル事業を実施し、多様な主体と連携を図るとともに、様々な区民ニーズに対応した。 ・【指標②】計画策定時と比較して1.1ポイント減少し、目標値に届かなかった。今後は、地域活動交流センターにおいて団体のニーズを捉えた交流促進を図り、指標の達成を目指す。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・区民ひろばの事業において多様な主体と連携し、様々な区民ニーズを捉えた事業を実施できたか。 ・地域活動交流センター及び交流センター登録団体を区民に広報できているか。					
	具体的な事例	・防災に取り組む団体やプロスポーツチーム、社会福祉協議会と協定を締結し、連携を図った。また、新たに子ども向けの事業を展開した区民ひろば池袋本町では、子どもが安全に遊べる場所の提供により、小学生の利用登録者が前年度比4倍以上になるなど、利用者層の拡大に繋がった。 ・一般区民が参加可能な交流センター登録団体のイベント・講座を10回開催し、参加者は前年度の76人から214人へ約3倍となった。ホームページや公式SNSに加え、実際に地域活動に参加・体感していただくことで草の根的な認知の拡大を図った。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．No.	1-④						
３．施策	良質で長く住み続けられる住環境の整備						
４．目指す姿	・子育て世帯の定住化が進み、多様な世代・世帯に応じた質の高い住宅がバランスよく確保され、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。						
５．評価責任者	都市整備部長						
６．施策関連課	住宅・マンション課、くらし・居住支援課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	住み慣れた地域で暮らし続けられる住まいの確保					
	取組状況①	・ファミリー世帯への家賃助成、多世代同居・近居への支援（助成）を実施した。 ・高齢者等への住み替え家賃助成、住宅セーフティネット事業、居住支援協議会の運営等による住宅確保要配慮者への支援を実施した。					
	取組方針②	良質で長く住み継がれる住宅ストックの形成					
	取組状況②	・マンション適正管理支援、空き家利活用事業、ファミリー住戸附置や区市住宅等再整事業等により多様で良質な住宅ストックの形成を推進した。					
	取組方針③	愛着と誇りがもてる住環境の創出					
	取組状況③	・マンション管理セミナー等の実施によりマンション防災意識の啓発を図った。 ・空き家利活用事業により地域の居場所等の創出を支援した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「現在住んでいる地域に住み続けたい」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	81.0	目標値	81.5	82.0	82.5	83.0	83.5
		実績値	81.2				
		達成率	99.6%				
	指標② 成果指標	ファミリー世帯の構成割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	19.1（2023年度）	目標値	19.7	20.0	20.3	20.6	21.0
		実績値	18.3				
		達成率	92.9%				
	達成状況分析						
	多世代近居同居支援事業等のファミリー世帯定住化支援の効果は限定的であり、指標①②ともに目標値には未達であった。特に指標②は総世帯数の増加に対してファミリー世帯の数がここ数年減少傾向にあり、その要因としては昨今の住宅価格や家賃の高騰が影響していると思われる。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	民間団体や地域との連携等により事業を効果的に実施できているか					
	具体的な事例	・居住支援協議会の登録団体への空き家利活用事業の周知をきっかけとして、令和7年度に登録団体との連携により新たなシェアハウスが成立した。 ・居住支援協議会の活動における不動産団体への事業周知や意見交換等により、令和8年度から新たに居住支援バンクの促進事業を実施することになった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	地域と共に支えあう安全・安心なまち						
２．№	1-⑤						
３．施策	治安対策の推進による地域防犯力の向上						
４．目指す姿	・区民や町会等の各種団体、事業者、警察その他関係機関との連携が強化され、公民が一体となって防犯活動に取り組み、犯罪のない誰もが安心して暮らせるまちを実現する。						
５．評価責任者	危機管理監						
６．施策関連課	治安対策担当課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	公民一体となった治安対策の推進					
	取組状況①	・町会・商店会、警察や企業等と連携し、環境浄化パトロールを実施 ・各警察署と協働し、イベント・キャンペーン等の広報啓発活動を実施					
	取組方針②	地域防犯力の強化					
	取組状況②	・繁華街における定期的な客引き対策により、指導警告を実施 ・個人宅の防犯機器設置補助事業を周知し、設置を促進					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	区内の刑法犯認知件数【件】　※減目標				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	3,405（2023年度）	目標値	3,200	3,100	3,000	2,900	2,800
		実績値	4,021				
		達成率	74.3%				
	指標② 成果指標	「治安が良く、安心して暮らせる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	39.1	目標値	40.0	45.0	50.0	55.0	60.0
		実績値	38.2				
		達成率	95.5%				
	達成状況分析						
	指標①：区内各警察署と連携し、特殊詐欺、痴漢、万引き等のキャンペーンを通じて広報啓発活動を実施したほか、地域と密着した環境浄化パトロールに取り組んだが、コロナ禍明けの経済活動や人流の再開と、SNS等を利用した特殊詐欺や犯罪が増加したため、令和6年度実績と比べ、刑法犯認知件数が増大した。 指標②：コロナ渦が終息し、犯罪件数が増加したこと、さらには、風営法や東京都迷惑防止条例に抵触するような、繁華街の悪質な客引き・看板を持ち客待ちをしている者に対する取り締まりが追いついていないために目標値を下回った。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	各種防犯対策について注意喚起を行うことで、区民の防犯に対する意識が向上し、実際に予防行動を取るようになったか。					
	具体的な事例	区内三警察署のイベントをはじめ、庁内における行事、イベントに積極的に参加し、警視庁防犯アプリ「デジポリス」の普及活動を実施した。区民には、その場でアプリケーションをダウンロードしてもらうことで、特殊詐欺犯人からの電話をブロックし、アプリ内の防犯情報を閲覧してもらったところ、「国際電話からの電話がこなくなった、特殊詐欺手口や対策の記載があるので安心」などの声があった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．No.	2-①-1						
３．施策	妊娠期からの切れ目ない支援						
４．目指す姿	・妊娠期から乳幼児期の子育て世帯が、必要な時に気軽に相談でき、つながり・見守られ続けることで誰もが安心して子どもを産み育てられる。						
５．評価責任者	子ども家庭部長						
６．施策関連課	健康推進課、長崎健康相談所、子育て支援課、子ども家庭支援センター						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	こども家庭センターをはじめとした支援の充実					
	取組状況①	・全ての妊婦を対象とした面接や、乳児がいる世帯への訪問、産後ケア、見守り訪問等により、子育てにおけるリスクを早期に把握し、必要な対応を実施					
	取組方針②	―					
	取組状況②	―					
８．施策の指標達成状況	指標①	「妊娠・出産期からきめ細かな支援により、安心して子どもを産み育てることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	成果指標						
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	27.5	目標値	28.0	28.5	29.0	29.5	30.0
		実績値	26.4				
		達成率	94.3%				
	指標②	サポートプラン作成数【件】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	成果指標						
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2024年度開始	目標値	60	70	80	90	100
		実績値	147				
		達成率	245.0%				
	達成状況分析						
	指標①：目標値との差が1.6Pで概ね目標を達成したものの、支援ニーズの多様化、支援制度の認知不足が要因の可能性がある。また、物価高騰など子育て世帯を取り巻く環境の変化等が影響した可能性も考えられる。 指標②：ゆりかご面接（妊娠届出時）から支援が必要な妊婦（要支援家庭）の早期把握に努めた結果、サポートプラン作成数は目標値を大きく上回った。要支援家庭にサポートプランを作成することで、妊娠期から切れ目のなく見守り、適切な支援につなげることができている。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	妊娠期から乳幼児期の子育て世帯の母親・父親の交流、情報交換等が活発化したか。					
	具体的な事例	・妊娠中のウエルカム赤ちゃん、プレママ講座、パパ講座で交流を深め、出産してからもママズカフェ、パパズカフェ、お父さんの応援講座、ベビーマッサージ、産後ヨガ、ベビープログラムなどで参加者同士仲良くなり、連絡先を交換し合ったり、その後センターで一緒に遊ぶ姿が見られている。 ・妊婦母乳教室、プレママサロンを実施し、妊婦同士の交流を深めている。孤立しがちな母親や外国人妊婦も参加しており、同じ境遇の仲間と出会い、普段は話しにくい悩みや不安を共有する場となっている。会の終了後も参加者同士の会話が弾み、交流を深める様子が見られた。 ・支援が必要な妊婦に対して、母子保健部門と児童福祉部門が連携し、妊娠中から出産後に受けられるサービスの説明や申請手続きをサポートする等の支援を行うことで、出産後すぐに子ども家庭支援センターを利用したり、困ったときの相談先として認識できるようになった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-①-2						
３．施策	未就学児の子育て世帯への支援						
４．目指す姿	・就学前の子育て世帯が悩みを抱えこまず、孤立することなく、安心して子育てしやすい環境が整っている。						
５．評価責任者	子ども家庭部長						
６．施策関連課	保育課、子ども家庭支援センター						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地域子育て相談機関の充実					
	取組状況①	・マイほいくえんを地域の子育てコミュニティ拠点として位置づけ、出産予定者、在宅育児家庭を対象に、離乳食講習会、ふれあい遊び、看護師講話、手作りおもちゃ、見学等の支援を実施したほか、区立保育園16園が区民ひろば16施設に出向き、マイほいくえんPRイベントを実施した。子育てフェスティバル（11月）にマイほいくえんPRブースを設置し周知も行った。 ・子育て家庭の孤立防止を目的として、親子遊び広場での乳児期の親子を対象にした講座の実施や、育児支援訪問相談、バースデーサポート事業、専門相談等を実施した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	マイほいくえん登録者数【人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	３０９（2023年度）	目標値	321	328	334	341	348
		実績値	363				
		達成率	113.1%				
	指標② 活動指標	子ども家庭支援センター相談件数【件】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	16,102（2023年度）	目標値	16,120	16,140	16,160	16,180	16,200
		実績値	18,419				
		達成率	114.3%				
	達成状況分析						
	指標①：保育料無償化の影響で0歳児から保育施設を利用する家庭が増加し、大幅な利用者数の増加は見込みにくいものの、令和5年度から対象園を拡大したこともあり、登録者数は目標値に対して13.1%の増となっている。公立保育園では区民ひろばを活用したマイほいくえんの周知活動を継続。マイほいくえんの利用が入園につながるケースもあるため、各施設の特色を活かした取り組みを推進し、子育て家庭が孤立しないようにPR活動を引き続き実施する。 指標②：発達障害の認知度が上がり親の感度が高くなっていることや相談の低年齢化等により、児童発達支援センターの相談件数が増加している。また、東西子ども家庭センターの相談件数も応援パートナー事業が開始され増加傾向にある。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	視点①　・地域子育て相談機関の充実 ・出産予定者、新生児家庭の支援 ・在宅育児家庭の支援 視点②　・親子遊び広場事業を利用する方々が仲良くなり、横のつながりが生まれたか					
	具体的な事例	視点①：園だけではなく区民ひろばの集客力や保健所の母子保健事業を活用し、PR活動を展開。保育士や看護師による専門的サポートや出産予定者や新生児家庭、地域の在宅育児家庭の生の声を聴く機会を増やすことで、孤立・育児不安を解消している。地域一体となった早期の周知と手厚い支援体制が安心感を生み、将来的な園へのスムーズな入園へと繋がっている。 視点②：東西子ども家庭支援センターの講座に参加され、母親同士が仲良くなり、連絡を取り合えるようになり、横のつながりが生まれている。また、父親も父親講座で仲間づくりができてきている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-①-3						
３．施策	保育の質の向上・保育サービスの充実						
４．目指す姿	・一人ひとりを大切にした質の高い保育により、多様な子どもたちが健やかに成長し、安心して子育てできる環境となっている。						
５．評価責任者	子ども家庭部長						
６．施策関連課	保育課、保育支援担当課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	特別な配慮が必要な子どもたちの保育の充実・地域の保育施設間の連携					
	取組状況①	・区立保育園の園長経験者を含む保育士等の専門職が定期的に各園を巡回し、子どもの権利や安全に配慮した保育が行われているかという視点で現場状況等を確認し、施設長に助言・指導を実施（令和7年度巡回実績：417回） ・中学校区域を基本とした9地域の各区立・私立認可保育所、地域型保育事業の連携強化に係る取組みを支援するため、保育施設地域連絡会全体会を年2回開催					
	取組方針②	保育需要に応じた保育定員・保育施設の確保					
	取組状況②	・主に地域型保育事業（2歳児クラスまで）の卒園児の受け皿として区立保育園の3歳児クラス定員数を調整（弾力化）し、保育定員の適正化を実施 ・南池袋二丁目C地区の大規模マンション竣工による保育需要増加に対応するため、近隣の認証保育所の認可化及びマンション内（南街区）への認可保育所の設置に向けた調整を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「需要に応じた保育サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	26.1	目標値	26.6	27.1	27.6	28.1	28.6
		実績値	25.1				
		達成率	94.4%				
	指標② 成果指標	待機児童数【人】 ※減目標				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	0	目標値	0	0	0	0	0
		実績値	0				
		達成率	100.0%				
	達成状況分析						
	指標①：園庭が無い私立保育園のため、平日午前に小学校の校庭を借りて遊び場を確保しているが、夏季の猛暑の影響や職員体制（退職等による人員不足）などを理由に、昨年度比で実施回数が減っている。保護者からも「外遊びが減った」という意見が出ることもあり、実績は目標値を下回った。 指標②：就学前児童数（0～5歳児）や保育所申込者数が対前年度比で減少したことに加え、地域型保育事業所や認証保育所（2歳児まで）卒園児の保育需要に対応するため、一部の認可保育所で3歳児の定員数を調整（定員弾力化）したことで、待機児童の発生を抑制した。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	視点①：研修受講を通じた保育の質の向上 視点②：区立園での医療的ケア児受入れ体制の強化					
	具体的な事例	視点①：研修参加者からは「事例に基づいた具体的な内容で、すぐに実践で活かせる」、「自身の保育を振り返るきっかけになった」という声が挙げられており、巡回訪問時には、園児に対する保育士の声掛けが穏やかになっている様子も見られ、研修の効果が徐々に現れている。 視点②：受入れ可能園が4園（池袋第一・高南・長崎・高松第二）に拡充したが、令和7年度末時点で1園（高松第二）のみ在籍児がいる。園看護師のサポートのもと必要な処置等を行い、可能な範囲で他児との交流や園行事への参加など、園生活を送っている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-①-4						
３．施策	課題を有する子育て世帯への支援						
４．目指す姿	・課題を有する子育て世帯が、適切な支援を受け、子育ての喜びを感じられる。						
５．評価責任者	子ども家庭部長						
６．施策関連課	子育て支援課、子ども家庭支援センター						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	課題を有する子育て世帯に向けた相談・支援体制の充実					
	取組状況①	・居所のない女性・母子（DV被害者含む）を保護することにより、安全確保、生活再建を実施 ・バースデーサポート事業や育児支援ヘルパー事業等による訪問を行い、課題を有する子育て世帯の早期発見を実現					
	取組方針②	―					
	取組状況②	―					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	居所のない女性・母子（DV被害者含む）を保護対応した件数【件】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	４２（2023年度）	目標値	45	45	45	45	45
		実績値	109				
		達成率	242.2%				
	指標② 活動指標	子育てエール（子育て世帯見守り訪問事業）のエスカレーション件数【件】 ※減目標 ※エスカレーション件数・・・継続対応に引き継いだ件数				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	5（2023年度）	目標値	27	27	27	27	27
		実績値	24				
		達成率	111.1%				
	達成状況分析						
	指標①については、令和7年度は困難度の高い女性や母子世帯を保護したため、保護期間が長期に及び、延べ対応月数(件数)が伸びた。これまで保護に至らなかった世帯が顕在化し、保護につながっている。 指標②について、2024年2月から開始した事業であり、計画策定時は当初２か月分の現状値であった。12か月分1割減の目標値27件よりも少ない24件が、要支援として見守り訪問からエスカレーションされた。相談先等について訪問の中で直接案内や連携することにより、早期支援につながるようになった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	視点①：支援により家族全員が安定した生活が送れるようになった事例 視点②：関係機関や地域と連携し迅速に対応した結果、児童虐待が重篤化せず改善できた事例					
	具体的な事例	視点①：DV避難による一時保護などを経て、安全確保と生活再建支援を受けることで、家族全員が精神的安定を図れるようになり、登校や就労もしくは療養継続などの自立した生活を送れるようになった。 視点②：不適切な養育が疑われた外国籍家庭に対し、保護者への支援を社会福祉協議会と、児童への支援を児童相談所とそれぞれ連携することで、児童虐待の重篤化を未然に防止することができた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．No.	2-②-1						
３．施策	就学前の子どもに対する教育						
４．目指す姿	・生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育が行われている。 ・幼稚園や保育園等の幼児教育施設の種類を問わず、就学前の子どもが小学校へ円滑に接続している。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	指導課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	幼児教育の質の向上					
	取組状況①	幼児教育研修を2回（１回目：区立幼稚園教諭、２回目：区立・私立の幼稚園教諭・保育園の保育士、小学校教諭を対象）実施					
	取組方針②	保育園・幼稚園・小学校連携の強化					
	取組状況②	区立小学校長、区立・私立幼稚園長、区立・私立保育園長を対象とした保幼小連絡会議を２回実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	学校・園は、関係諸機関（保育園や幼稚園、小学校、中学校）と連携を図っていると思うと肯定的な回答をした人の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	74.3（2023年度）	目標値	77.0	79.0	81.0	83.0	85.0
		実績値	83.0				
		達成率	107.8%				
	指標② 活動指標	保幼小連絡会の開催数【回】				令和７年度達成状況	D：大きく未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2024年度開始	目標値	22	44	44	44	44
		実績値	2				
		達成率	9.1%				
	達成状況分析						
	２回の保幼小連絡会議・幼児教育研修（現保幼小連携研修）の実施により各学校区における連携が行われはじめたことが指標①の達成率に繋がっている。指標②の保幼小連絡会議については８年度以降小学校区（全22区）毎に年2回の開催（計44回）を目標としているが、７年度は連携体制をとる初年度になるため、全体会２回の開催のみとなった。ただし、全体会において各校（全22校）が個別にブースを設けて意見交換を行っており、実質的に個別の連絡会を22回開催した場合と差がない状況であったと評価できる。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	小学校・幼児教育施設訪問実施による幼児教育センター職員のノウハウ蓄積と実施事業の周知ができているか。					
	具体的な事例	区立幼稚園・区立保育園・小学校の訪問を通し、保育観察・授業見学を行うことで違いや特徴を把握、センターとしてのノウハウを蓄積し、各所にフィードバックする体制をとることができた。訪問時に実施事業（連絡会議・研修等）の周知を行い、特に２回目の研修では当初公立保育園からは４園のみの申込であったが、周知を行った結果、14園からの参加が実現した。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-②-2						
３．施策	未来を切り拓くための力を育成する教育						
４．目指す姿	・子ども一人ひとりが、どのような家庭環境であっても、元気にたくましく育ち、柔軟に対応できる知識・能力を身につけている。 ・豊かな体験を通して、心身ともに健やかに成長している。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	指導課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	主体的・対話的で深い学びを引き出す授業改善					
	取組状況①	・全校で授業改善プランを作成し、指導主事による達成状況確認のための視察を実施 ・年３回（６月、７月、９月）、区教委主催の授業改善推進研修を実施					
	取組方針②	心身の健やかな成長に向けた多様な学びの提供					
	取組状況②	・音楽や演劇の鑑賞教室など、芸術・文化に触れる機会を創出 ・移動教室などにおける自然の中での活動や外部講師による健康教育の実施					
	取組方針③	組織的で確実ないじめ対応					
	取組状況③	・ふれあい月間（6月、11月）にて、未然防止・早期対応に関する取組を推進 ・区教委主催の各種研修にて、いじめ対応に関する内容を実施					
８．施策の指標達成状況	指標①	区で実施する児童・生徒の意識・意向調査「授業の理解度」【%】				令和７年度達成状況 (上段：小6) (下段：中3)	B：一定程度達成
	成果指標						B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	小6：56.7（2023年度）	目標値	59.0	60.5	62.0	63.5	65.0
		実績値	57.2				
		達成率	96.9%				
	中3：41.8（2023年度）	目標値	46.0	48.5	51.0	53.0	55.0
		実績値	43.4				
		達成率	94.3%				
	指標②	区心理調査「自己肯定感」の設問における肯定的回答率【%】				令和７年度達成状況 (上段：小6) (下段：中3)	B：一定程度達成
	成果指標						B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	小6：69.8（2023年度）	目標値	75.0	77.5	80.0	82.5	85.0
		実績値	71.8				
		達成率	95.7%				
	中3：74.2（2023年度）	目標値	78.5	80.5	82.0	83.5	85.0
		実績値	73.2				
		達成率	93.2%				
	達成状況分析						
	令和７年度は中学校の授業改善を重点的に取り組んだことで、指標①成果指標の中学校実績値は前年度から5.9ポイント増加した。好事例を研修や学校訪問の際に紹介し、いずれの指標も目標値を上回ることができるように今後も継続して更なる改善を図る。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・一人一人の学びへの支援による成果が得られたか。 ・課題を解決する授業によって身に付けた力を活用した自力解決の成果が得られたか。					
	具体的な事例	一人一人の学習状況に応じてICTを活用したことで、自分の考えを整理、共有しやすくなり、これまで発言することに苦手意識のあった児童生徒も自分の考えを表現し、友達の意見と比較しながら考えを深める姿が見られた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-②-3						
３．施策	一人ひとりに寄り添った教育						
４．目指す姿	・子ども・保護者に向けた相談体制が整備され、状況に応じたきめ細かな支援が実現している。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	教育センター						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	学校と関係機関が連携した組織的できめ細かな不登校支援					
	取組状況①	①全中学校に不登校対策支援員とSSW（スクールソーシャルワーカー）を配置　②柚子の木教室の環境整備　③登校支援学級の開級　④不登校対策総合計画の策定					
	取組方針②	学校における特別な支援体制の充実					
	取組状況②	①障害のある子どもや成長に伴う問題や悩みに対しての相談事業の実施　②外国ルーツの子どもへの日本語指導等　③学校生活で配慮の必要な子どもに対する人的配置					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	不登校の児童生徒が学校や関係機関から専門的な支援を受けている割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	89.8（2023年度）	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	100.0				
		達成率	100.0%				
	指標② 成果指標	教育相談利用者数【人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	495（2023年度）	目標値	500	503	505	508	510
		実績値	582				
		達成率	116.4%				
	達成状況分析						
	①不登校対策支援員、SSWが中学校に常駐し、中学校を拠点にSSWが学区内の小学校を定期的に巡回することで教員との連携が進み、不登校児童生徒の状況把握や支援を確実に行うことができた。 ②中学卒業後の進路の多様化に伴い、相談対象とする子の高校卒業年齢も様々となり、伴走する相談期間が延長している。丁寧かつ効率良く相談に応じることができた。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	子どもが不登校になったことによる保護者の不安の払拭ができているか。					
	具体的な事例	不登校児童生徒を持つ保護者向けに講演会を実施し、多様な支援策を紹介できたことで家庭への支援も行った。保護者からは「定期的に開催してほしい」「同じ悩みを持つ方との情報交換ができて有意義だった」といった声が寄せられ、保護者の不安解消につながった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-②-4						
３．施策	子どもが安心していきいきと過ごせる居場所づくり						
４．目指す姿	・子どもにとって、安心して自由に過ごせる居場所が充実している。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	放課後対策課、指導課（学校支援担当）						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	子どもスキップなど子どもの居場所の充実					
	取組状況①	・子どもスキップに出欠等管理システムを導入することで児童の見守りや支援の時間を創出した。 ・「小１の壁」対策事業として、朝の見守り及び帰宅時の見守りを実施した。 ・地域や企業と提携し、マルチスポーツや文化体験等の機会を提供した。					
	取組方針②	地域と支える居場所づくり					
	取組状況②	・「としま地域未来塾」において、学習院大学社会福祉研究会と連携し「水曜教室」を、チームとしま等と連携し「としま地域クラブ」を実施した。 ・西池袋中学校「にしまるーむ」の運営を通じて、地域全体での子どもの居場所づくりを推進した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	放課後子ども教室に参加した児童数【人】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	16,323（2023年度）	目標値	21,580	23,660	25,740	27,820	30,000
		実績値	17,661				
		達成率	81.8%				
	指標② 成果指標	自分の好きなことに打ち込めていると感じる小中学生割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	92.7（2023年度）	目標値	94.0	96.0	98.0	98.0	100.0
		実績値	93.4				
		達成率	99.4%				
	達成状況分析						
	指標①は、現状値を上回ったが目標値には届いていない。今後は、各教室の実施状況や参加傾向を分析し、児童の興味・関心に応じた魅力あるプログラムの充実、学校・地域との連携強化、保護者・児童への周知を進め、参加機会の拡大を図る。 指標②は、目標値をわずかに下回るものの、おおむね順調である。引き続き、子どもたちが主体的に活動し、興味や関心を深められる場や機会を確保するとともに、放課後の多様な体験活動の充実を図る。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	学童保育の質が向上しているか。					
	具体的な事例	学童クラブ出欠管理等システムの導入により、学童指導員の事務負担が軽減され、児童の見守りや支援といった本来業務により多くの時間を充てることが可能となった。また、OJTや救命救急講習等の時間も確保することができ、OJT参加者はR6は351人、R7は437人となり、約24.5%増と多くの職員が参加できるようになった。これらにより、学童保育の質の向上につながった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-②-5						
３．施策	子どもの学びと成長を支える教育環境の整備						
４．目指す姿	・計画的な学校改築や改修等により、時代のニーズに即した質の高い教育を行う環境が整っている。 ・教員が心身ともに健康で、やりがいを持って、いきいきと子どもと向き合っている。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	庶務課、学校施設課、指導課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	計画的かつ着実な学校改築・改修等の実施					
	取組状況①	現在、千川中学校を改築しており、令和１０年度中の竣工を予定している。					
	取組方針②	教員業務の軽減・効率化の推進と教員を支える体制の強化					
	取組状況②	・教職員庶務事務システムのデータを活用して、教育管理職が教員一人ひとりの在校時間及び改善が必要な勤務実態を把握し、学校経営における対策を講じることで勤務状況の改善に努めた。 ・教育管理職は、定期的に実施する自己申告や教員との個別面談を通して、健康状態の確認や仕事の進め方などの指導・助言を実施した。 ・区立小中学校における好事例を集約した好事例集を作成し、全校に周知し、各校における働き方改革の促進を行った。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	改築済（工事中含む）の小中学校数【校】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	10（2023年度）	目標値	11	11	11	11	12
		実績値	11				
		達成率	100.0%				
	指標② 成果指標	「仕事を通して、自分の成長を感じていると思う」と肯定的な回答をした教職員の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2025年度開始	目標値	70.0	75.0	80.0	85.0	90.0
		実績値	87.0				
		達成率	124.3%				
	達成状況分析						
	指標①：千川中学校が令和１０年度に竣工、駒込中学校が令和１１年度から改築工事に着手する予定であり、目標通りに進捗している。 指標②：平成30年度末に「豊島区学校における働き方改革推進プラン」を策定して以降、教員の働き方改革に取り組んできたこと、また、教育ビジョン2025において教員のウェルビーイングの向上を目標に掲げ、教員を支える体制の強化を図ってきたことが、目標値を上回った一因になっていると考えられる。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・子どもたちや地域の意見を踏まえた「整備計画」の策定ができているか。 ・教員の働き方改革により、教員の負担感や働きやすさに変化があったか。					
	具体的な事例	・PTA、育成委員、町会等による「建替え等を考える会」を設置し、建替えに関する意見交換を実施している。加えて、児童・生徒や教員にアンケート調査を実施するなど、様々な主体の意見を「提言書」としてまとめ、「整備計画」に反映させており、実際に「誰もが利用しやすいインクルーシブな施設」「災害・防災に強い、地域防災拠点」など多くの意見が反映されている。 ・各校から提出される好事例を取りまとめた好事例集も蓄積され、各校独自のスケジュール管理や資料作成のDX化、学校閉庁日の設定、職員一斉退庁日の設定等負担感や働きやすさの改善の効果が高いと思われる取組を中心に、学校間での広まりが見られるようになった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-②-6						
３．施策	学校と家庭・地域が連携した教育活動の推進						
４．目指す姿	・学校との信頼関係のもと、保護者や地域住民等が積極的に学校運営に参画し、地域全体で子どもを見守り、育てる教育活動が展開できている。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	庶務課、指導課、指導課（学校支援担当）						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地域とともにある学校へ					
	取組状況①	コミュニティ・スクールの全校導入に向けて、未導入校（16校）に対する研修及び学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーター配置に向けた説明会を実施した。					
	取組方針②	地域に育まれ、地域を愛する子どもの育成					
	取組状況②	各校が地域の外部人材を積極的に活用したほか、地域、企業、大学と連携した教育を実施した。					
	取組方針③	家庭教育への支援体制の強化					
	取組状況③	・家庭教育講座について、PTAだけでなく地域の方に対しても周知を行うことで、幅広い方の参加を促した。 ・家庭教育推進員事業について、PTA会長の推薦をやめ、区内小学校保護者を対象に幅広く参加者を募集した。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「学校はコミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域住民等が学校運営に参画し、学校と一体となって子どもたちを育む体制を構築していると思う」に肯定的な回答をした人の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	70.0	目標値	73.0	76.0	79.0	82.0	85.0
		実績値	80.3				
		達成率	110.0%				
	指標② 成果指標	児童・生徒の地域への愛着【%】				令和７年度達成状況 （上段：小6） （下段：中3）	B：一定程度達成 A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	小6：91.4 （2023年度）	目標値	93.0	93.7	94.0	94.7	95.0
		実績値	91.6				
		達成率	98.5%				
	中3：89.6 （2023年度）	目標値	90.8	91.4	92.0	92.6	93.0
		実績値	92.7				
		達成率	102.1%				
	達成状況分析						
	指標①：コミュニティ・スクールの全校化に向けて、未導入校（16校）に学校関係者、地域の方を対象に研修を実施することで、コミュニティ・スクールの仕組みについて理解が広まり目標値を大幅に上回る実績値であった。 指標②：地元の企業や有識者による授業、地元の伝統行事や伝統文化に関する学習等、地域資源を活用した教育やコミュニティ・スクールの展開等により、児童生徒の地域への理解と愛着が高まっている。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・地域の方々の学校運営・教育活動に参画する意識が向上しているか。					
	具体的な事例	・地域の方々からの「学校運営協議会の委員にはどうしたらなれるか」、「子どもたちのために何かしたい」という声や、民間企業からの派遣授業をさせて欲しいという提案等、多方面から挙がっており、地域の学校運営や教育活動に参画しようとする意識が高まっていることが感じられた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．№	2-③-1						
３．施策	子ども・若者の社会参画・活動の場の創出						
４．目指す姿	・子どもの権利を尊重し、成長段階に応じた意見表明・参画の機会が確保されている。 ・子ども・若者の居場所が確保され、活動の場が充実している。						
５．評価責任者	子ども家庭部長						
６．施策関連課	子ども若者課、放課後対策課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	子どもの意見表明・参加の促進					
	取組状況①	・子どもの権利に関する条例ならびに条例に定める大切な子どもの権利について、子どもの権利学習プログラムを通じて啓発活動を実施 ・ふくろう相談室では、令和7年度より子どもスキップへのアウトリーチを開始し、相談体制を充実させることで、子どもの権利侵害の早期発見、早期改善を実現 ・子どもスキップでは、小学生の身近な居場所として、安心できる放課後時間を提供					
	取組方針②	子ども・若者が安心して過ごせる居場所・活動の場の創出					
	取組状況②	・UR都市機構より無償で借り受けた空き家において、NPO法人による若者のための居場所運営を展開。ひとつは若年妊産婦の居場所で、妊婦や地域で暮らす未婚の若年母子が安心して集い過ごせる場所。もうひとつは10～20代の若者の食を支え、また雇用の創出など社会参画を支援する場。区は空き家改修に係る一部費用の補助を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「子どもの権利に関する理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	13.0	目標値	14.4	15.8	17.2	18.6	20.0
		実績値	13.6				
		達成率	94.4%				
	指標② 成果指標	中高生センタージャンプ及び子どもスキップ「利用者会議」参加延べ人数【人】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	6,364（2023年度）	目標値	6,390	6,405	6,420	6,435	6,450
		実績値	10,511				
		達成率	164.5%				
	達成状況分析						
	指標①：豊島区子どもの権利に関する条例に定める取組を継続して行っていくことにより、子どもの権利に関する理解が少しずつ広がっている。 指標②：中高生センタージャンプでは、ジャンプ東池袋がR5年度大規模改修工事により仮施設運営のため利用者数が減少したが、R6年2月にリニューアルオープンし、徐々に利用者数が増加。それに伴い参加者数が増加した。更に日常的に職員が利用者との関係作りをすることにより、利用者会議に参加しやすく意見を話しやすい環境を整え、参加者数増に繋がった。 また、子どもスキップについては、「利用者会議」の充実を主要課題に掲げ、児童が主体的に子ども会議に参加できるよう、夏季休暇等の長期休暇中のイベントなど身近なテーマを選んだり、運営への反映状況などを廊下に掲示したりするなど、一部の子どもスキップで実施している成功事例を全体に広げた。					
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・子どもの権利侵害が少なくなっているか ・参加人数だけではなく、意見表明しない利用者のニーズをくみ取る意識があるか ・少数意見にも耳を傾ける努力をしているか ・居場所での活動を通じて、子ども・若者にどのような変容が生じたか					
	具体的な事例	・中高生センタージャンプでは、利用者と職員との日常的な会話からニーズをくみ取り、中高生自主企画イベントの実施が増えている。 ・空き家を活用した居場所では、季節イベントの実施や利用者同士が資格試験の学習を共同で実施するなどの繋がりができ孤独孤立の予防に寄与している。また、地元企業から仕事を請け負うなど地域との関わりも増え着実に社会参画が推進されている。更にハウスクリーニング事業を立ち上げ若者の雇用を生み出すことで社会貢献にもつながっている。 ・子どもスキップでは、利用者会議では発言しにくい子どもの思いを日常の様子やふとした瞬間のつぶやきから丁寧にくみ取るとともに、各子どもスキップに意見箱を設置して意見を集め、運営に反映している。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	子育てしやすく、子ども・若者が自分らしく成長できるまち						
２．No.	2-③-2						
３．施策	多様な子ども・若者への支援						
４．目指す姿	・多様な子ども・若者へのきめ細かな支援が行き届き、すべての子ども・若者が夢や希望を持っていきいきと生活できている。						
５．評価責任者	子ども家庭部長						
６．施策関連課	子ども若者課、子ども家庭支援センター、児童相談課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	子ども・若者に向けた相談・支援体制の充実					
	取組状況①	・としま子どもの権利相談室では子どもスキップなどにアウトリーチを行うことで、子どもたちが利用する施設で話をしやすい環境のもとで相談を受けることができる体制を整備 ・学校や地域のイベントを通して、子どもと区民に広くヤングケアラーについて周知や啓発活動を実施					
	取組方針②	虐待や暴力から子どもを守る取組の強化					
	取組状況②	・児童虐待の予防や暴力防止の普及啓発を推進するための、研修や区民向け講演会、街頭キャンペーンを実施 ・年間通じて約140件の一時保護を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	発達相談から専門相談につながった割合【%】				令和７年度達成状況	D：大きく未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	31.7（2023年度）	目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0
		実績値	15.4				
		達成率	28.0%				
	指標② 成果指標	里親等委託率【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	32.3（2023年度）	目標値	34.3	35.0	36.3	38.1	38.9
		実績値	32.0				
		達成率	93.3%				
	達成状況分析						
	指標①：令和６年に児童発達支援センターが開設され、当初の想定とは異なり同センターへ直接相談する方が増えたため、指標としている西部子ども家庭支援センターの発達相談経由で児童発達支援センターの専門相談につながる割合は減少した。ただし、児童発達支援センターを含む専門相談の件数は従前から大きく増えており、施策全体の進捗としては概ね順調であると評価できる。 指標②：里親委託が可能な児童については積極的に里親委託を行うよう、援助方針を定める際に、必ず里親委託の可否を検討する運用としているため、概ね目標を達成することができた。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・専門相談を実施している保護者間のつながりが生まれる ・関係機関や地域と連携し迅速に対応した結果、児童虐待が重篤化せず改善できた事例					
	具体的な事例	・保護者向けの学習会や保護者会などの場で参加者同士が交流を持つ場面が見受けられた。 ・家庭内でのトラブルに関して、区内警察署との連携により速やかな一時保護ができ、児童相談所が介入できたことで、当該児童にとって望ましい養育環境に繋ぐことができた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．No.	3-①-1						
３．施策	どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化						
４．目指す姿	・支援を必要とする区民が適切な相談支援につながることができる。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	福祉総務課、障害福祉課（障害支援担当課長）、高齢者福祉課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	すべての相談窓口でどんな悩みごとでも受け止め、適切な支援につなぐ					
	取組状況①	・単独の組織・分野では対応が困難な課題に対する重層的な相談支援体制の強化のほか、犯罪被害者等相談支援の窓口開設（R7.4.1）や高齢者総合相談センターの周知による相談支援体制の拡大。 ・医療的ケア児（者）、発達障害、高次脳機能障害などの相談の実施。					
	取組方針②	身近な相談先の充実及び要支援者の早期発見					
	取組状況②	・CSW（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）による属性を問わない相談窓口体制のほか、高齢者総合相談センターの見守り支援事業担当の人員拡充による、通年実施の高齢者へのアウトリーチ活動の強化。 ・各協議会等を通じた障害福祉地域課題の把握や、交流会・研修会等での様々な分野との連携強化。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「福祉に関する相談体制が充実しており、身近な相談窓口を安心して利用できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	25.5	目標値	26.0	26.4	26.9	27.3	27.8
		実績値	25.0				
		達成率	96.2%				
	指標② 成果指標	コミュニティソーシャルワーク事業による個別相談支援件数（延べ）【件】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	10,158（2023年度）	目標値	12,400	13,300	14,200	15,100	16,000
		実績値	11,488				
		達成率	92.6%				
	達成状況分析						
	指標①計画策定時に比べ微減となっているが、R7年度より、「東部高齢者総合相談センター　こまごめ相談室」を新たに開設したことで、これまで地理的に相談窓口が遠かった駒込地域の区民の利便性が向上することから周知を図っていく。指標②目標には達していないものの事業について関係機関への周知・協働の働きかけをしたことにより、団体等の相談は昨年度より増加しており、地域に関する相談への対応が多くなっている。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	相談に来た区民が、対応に満足していると感じるか。 相談内容に応じた適切な相談対応ができているか。					
	具体的な事例	犯罪被害者相談支援窓口の開設により、都からの案内で区の支援へ繋がることや区からの案内で都の支援に繋がることがあり、都区間連携で適切な相談対応を実施した。日常生活支援のうち配食サービス事業について、「お弁当が大変おいしく、助かっている」という反応が得られ、相談者の心理的負担の軽減を図ることができた。 相談内容に応じて障害者本人やその家族の悩みについて、高次脳機能障害専門相談や心理相談の専門員が受け止め、障害特性に対する理解を促すとともに、今後の関わり方について助言することで、家族が抱えるストレスや問題の改善を図った。相談者の抱えている課題が整理され、今後の改善方針の目途が立つことで、本人や家族の心理的負担の軽減を図ることができた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-①-2						
３．施策	住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制の強化						
４．目指す姿	・ライフステージに応じて、必要な支援を受けることができ、いつまでも住み慣れた地域で生活できる。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	福祉総務課、くらし・居住支援課、高齢者福祉課、障害福祉課（障害支援担当課長）						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	区民自らの意思を尊重し、意思決定を支援する権利擁護の取組					
	取組状況①	・成年後見人制度の利用促進、普及啓発。 ・区民の終活についての不安や悩みを解消し今後の生活をより豊かで充実したものとするための終活相談窓口の運営。					
	取組方針②	地域で暮らし続けるための包括的で切れ目ない支援					
	取組状況②	・庁内の連携強化および関係機関との連携により、生活困窮者やひきこもり当事者等が相談および適切な支援につながるよう体制を強化。 ・令和８年度より住宅部門と福祉部門を再編、住まい相談支援員を配置。 ・医療的ケア児（者）等やその家族への支援や、親なき後を見据えた地域生活支援拠点コーディネーターによる支援を実施。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	成年後見制度の利用者数【人】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	580（2023年度）	目標値	600	610	620	630	640
		実績値	582				
		達成率	97.0%				
	指標② 成果指標	「高齢者や障害者、生活困窮者等が、必要な支援を受けながら安心して日常生活を送ることができる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	21.2	目標値	21.7	22.2	22.7	23.2	23.7
		実績値	22.1				
		達成率	101.8%				
	達成状況分析						
	①成年後見制度の利用人数は横ばいの状況であるが、制度の内容等について周知が十分に行き届いていないことが、その要因の一つと考えられる。 ②生活困窮者やひきこもりの相談者が増加。生活困窮者等が相談につながったこと等による成果もあり、実績値が向上した。（生活困窮者：新規相談件数1057件(+75件) ひきこもり相談窓口：相談者数167人（+7人）） 						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	サポートとしまへの相談が成年後見制度の利用に寄与したかどうか。 支援を受けることで、住み続けたい地域に実際に住み続けられたかどうか。					
	具体的な事例	・サポートとしまの利用者や相談者が実際に成年後見制度の利用につながった事例がある。 ・令和7年度においては、家賃の高騰等により、高齢者等の住宅確保要配慮者が入居できる物件が限られたため、区内での住み替えが困難となり、他自治体へ転出した事例も生じている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-①-3						
３．施策	社会とのつながりや参加を支える仕組みづくり						
４．目指す姿	・誰もが社会とのつながりや参加を通じて、自らの持つ力を発揮し、その人らしい生活をしている。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	くらし・居住支援課　高齢者福祉課　障害者福祉課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	孤独・孤立を生まない仕組みづくり					
	取組状況①	孤独・孤立対策強化月間（5月）の周知、ならびに孤独・孤立と関係が深い分野の会議体をプラットフォームに位置づけ、意識啓発を推進。 地域において見守りが必要な高齢者への訪問活動等を実施。					
	取組方針②	多様な働き方に向けた支援の推進					
	取組状況②	就労体験（見学）の実施、地域活動やセミナーへの参加、面接同行や医療機関への同行など、生活困窮者個々の希望や状況に応じた支援を実施。 企業と障害者の雇用に関する相互理解の機会として就労実習を実施。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「地域の中で、支援を必要とする人を見守り、支え合うような人と人とのつながりがある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	14.7	目標値	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0
		実績値	15.8				
		達成率	92.9%				
	指標② 成果指標	くらし・しごと相談支援センターにおける就労準備支援事業対象者のうち就労を開始した人の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	19.6	目標値	36.0	36.5	37.0	37.5	38.0
		実績値	29.4				
		達成率	81.7%				
	達成状況分析						
	①ひきこもり相談窓口での家族会等の情報提供や講演会の開催、民生児童委員や高齢者総合相談センターによる一人暮らし高齢者への熱中症予防訪問や地域の方からの相談などを通じた見守り体制の構築により、区の取り組みが広く周知されたことで、目標値には届かなかったものの、実績値は増加した。 ②個々の課題に応じた本人希望を尊重した伴走支援を実施したことで、就労阻害要因が段階的に解消し、就労の機会を得るまで結びついている。また、障害者就労支援センターとくらし・しごと相談支援センターが連携し、障害者の就労の機会も創出しており、目標には到達しなかったが、前年度より上昇した。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・困ったことがあったときに相談ができる関係性であるかどうかなどの視点 ・丁寧な支援の結果、対象者から前向きな声が聞かれた ・支援により就労意欲が高まった					
	具体的な事例	就労に結びついていなくとも、地域活動への参加や就労体験（見学）などを通じて、就労意欲の向上や就労に対する不安の解消など就労に向けた準備が整いつつあるケースがある。 障害者就労支援センターと独自の求人開拓・斡旋を行うくらし・しごと相談支援センターが連携し、本人希望と特性に応じたオーダーメイドの求人提供など寄り添った支援を実施したことで、就労につながったケースがあった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-①-4						
３．施策	年齢や障害にかかわらず、いきいきと生活し続けるための支援						
４．目指す姿	・年齢に関わらず、心身の健康づくりのための活動に主体的に取り組むことができ、地域で活躍している。 ・障害に応じて、自己表現できる楽しみや活動の場がある。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	高齢者福祉課、障害福祉課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	介護予防・健康づくりの推進					
	取組状況①	・プレフレイル、フレイル状態にある高齢者の早期把握と機能維持のためフレイルチェック及びフレイル予防のための個別相談や各種教室を実施					
	取組方針②	障害者の多様な自己表現や体験等の活動支援の推進					
	取組状況②	・障害に応じてスポーツの楽しさを味わえるようスポーツイベントを実施 ・障害者が製作の喜びを感じ、意欲向上に繋がるよう文化芸術事業を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「高齢者や障害者等が、社会参加し、交流しながら、いきいきとした生活を送っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	16.7	目標値	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0
		実績値	16.7				
		達成率	98.2%				
	指標② 成果指標	障害者スポーツや文化イベントの参加人数【人】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	607（2023年度）	目標値	665	700	735	770	805
		実績値	914				
		達成率	137.4%				
	達成状況分析						
	令和7年度は、区で3か所目の介護予防・フレイル対策の活動拠点である「高田介護予防センター 長崎活動室」の開設やふくし健康まつりの参加種目の拡大などにより、指標①は相当程度の達成、指標②は目標値を249人上回り、目標を超過し達成することができた。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・障害当事者が、スポーツや文化活動の参加を通じて、社会とのつながりを持ち、満足度を高められているか。					
	具体的な事例	・「スポーツのつどい」の参加者にアンケートを取ったところ、知的障害者の親の会から「親子とも毎年楽しみにしている。今後も毎年継続して開催していただきたい。」との回答があった。 ・令和7年度は聴覚障害者の国際スポーツ大会デフリンピックが東京で開催されたこともあり、障害者スポーツに対する関心が高まった。障害者団体を中心に積極的に広報活動を行い、社会とのつながりを持つことができた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．No.	3-①-5						
３．施策	暮らしやすく、社会につながる環境の整備						
４．目指す姿	・誰もがいつでも必要な情報を得ることができ、外出しやすい環境が整っている。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	福祉総務課、高齢者福祉課、障害福祉課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	まちのバリアフリー推進による外出支援					
	取組状況①	・視覚障害者用歩行ナビゲーションシステムの実証実験の実施					
	取組方針②	情報アクセシビリティの向上					
	取組状況②	・バリアフリーマップのWEB公開（冊子版からの移行）および更新 ・小学生まで対象年齢を拡大した初心者向け手話講習会の開始 ・高齢者向けスマートフォン教室（全4回）の実施（東京都事業を活用）					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「まちのバリアフリー環境が整備され、日常生活に支障がないまちになっている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	18.2	目標値	19.7	21.2	22.7	24.2	25.7
		実績値	19.1				
		達成率	97.0%				
	指標② 成果指標	65歳以上で要介護認定を受けていない方のスマートフォンの所持率【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	78.0（2023年度）	目標値	79.0	79.5	80.0	80.5	81.0
		実績値	84.9				
		達成率	107.5%				
	達成状況分析						
	指標①目標値までは達成していないものの、バリアフリーへの継続的な取り組みにより実績値は微増している。引き続きハード面・ソフト面を含めたまちのバリアフリー環境の整備を行う。 指標②行政手続きのオンライン化や３G回線の終了に見られるような社会全体のデジタル化の影響もあり、スマホの所持率は増加し目標値を上回った。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	民間事業者の所有施設のバリアフリー化の進捗具合 高齢者スマートフォン活用への意欲の増進					
	具体的な事例	・バリアフリーマップの形態を、紙ベース（冊子）からWeb版に転換し、スマートフォン等でいつでも情報を確認できるようになったため、マップの使い勝手が向上した。 ・スマートフォン教室の参加者アンケートによれば、満足度の平均値が10点満点中8.61であり、教室後もスマートフォンを積極的に利用したいと回答した割合が9割であり、意欲の増進がみられた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-①-6						
３．施策	共に支えあい、思いやりあふれる地域づくりの推進						
４．目指す姿	・人と人が理解し、支えあいながら、暮らせるまちとなっている。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	福祉総務課、高齢者福祉課、障害福祉課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地域における支えあい活動の促進と担い手確保					
	取組状況①	・生活支援に関する地域資源情報データベースシステムへの登録・更新、協議会の開催（3回） ・地域の様々な主体からなる地域のプラットフォーム「ぷらっと」を区内8圏域で計45回開催し、412名が参加					
	取組方針②	様々な支援を必要とする方や家族に対する理解の促進					
	取組状況②	・認知症サポーター養成講座、企業や区民を対象とした障害者サポート講座の実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	コミュニティソーシャルワーク事業の地域団体等支援・連携件数【件】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2,777（2023年度）	目標値	2,900	3,000	3,100	3,200	3,300
		実績値	4,371				
		達成率	150.7%				
	指標② 成果指標	「認知症の人や障害者などの支援を必要とする方に対する区民の理解が進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	9.1	目標値	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0
		実績値	9.5				
		達成率	95.0%				
	達成状況分析						
	・指標①：CSW（ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ）が受ける相談の背景には、本人が望まない“孤独・孤立”の問題等がある場合が多く、そのような状況にある方々が参加し、活躍できる場を地域に増やす働きかけを積極的に行ったことで、目標を大きく超える結果に繋がった。 ・指標②：認知症サポーター養成講座をこどもスキップ、大学、外国人留学生など多様な属性の方を対象として実施したことや、障害者サポート講座の実施回数を拡大したことが区民の認知症や障害者への理解の促進に寄与したと考えられる。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・地域での支え合いに関する意識醸成が図られたか ・街で困っている高齢者や障害者への支援が増えているか					
	具体的な事例	・障害者サポート講座後の参加者アンケートでは「実体験に基づき大変わかりやすい内容で大変有意義な時間だった。なにか協力できることはないか、さらに何を学ぶべきかをこれからも考えていきたいと思う。」と言った意見があった。 ・ゴミ出しに困っている高齢者に対して、生活支援コーディネーターが町会へ働きかけたことで、地域での支援体制が整えられた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-①-7						
３．施策	福祉人材の確保・支援と福祉サービスの質の向上						
４．目指す姿	・区内で働き続けられる福祉人材を確保することにより、サービスの安定的な供給が図られ、支援を必要とする人が適切で良質なケアを受けることができている。						
５．評価責任者	福祉部長						
６．施策関連課	高齢者福祉課、障害福祉課、介護保険課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	福祉人材の確保・養成・定着支援					
	取組状況①	・介護人材確保に向け、就職相談会の実施や若年層向けの介護の仕事魅力発信パンフレットの作成 ・福祉人材定着・育成のため、資格取得費用の助成や各種研修を実施 ・介護事業所のDX推進の取組みとして、ケアプランデータ連携システム導入促進事業を実施					
	取組方針②	事業者支援と介護者等のスキルアップ					
	取組状況②	・運営指導やケアプラン点検結果を踏まえ、介護事業者への集団指導を実施 ・認知症支援講座の開催や、障害施設従事者へ虐待防止に関する研修会を開催					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「支援を必要とする人に適切で良質な福祉サービスが提供されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	15.7	目標値	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0
		実績値	15.4				
		達成率	90.6%				
	指標② 成果指標	介護サービス及び障害福祉サービス指摘事項改善件数【件】				令和７年度達成状況	C：未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	288（2023年度）	目標値	291	304	304	317	317
		実績値	176				
		達成率	60.5%				
	達成状況分析						
	①介護サービスの需要が拡大し、利用者や家族の介護サービスに対する期待水準が高まる一方で、介護職員の慢性的な人手不足や認知症などの困難案件の増加等を要因として、良質なサービス提供を区民が実感し辛い状況が生じていると推測される。 ②指定障害児通所支援事業所において監査を要する事案が発生した影響により、障害福祉サービス分野の実地指導件数が伸びなかったため、比例して改善指摘件数も同様に少なくなった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・事業所で働く職員の知識が向上し、サービスの質の向上につながっているか。 ・就職相談会や各種助成制度を利用することで、福祉人材の採用や定着が進んだか。 ・指導を受けた事業所が、より適正で質の高いサービスの提供ができるようになっているか。					
	具体的な事例	・介護事業者向けの研修後の受講者アンケートで、「内容に満足した」「業務に生かすことができる」という回答が多くあり、知識の向上及びサービスの質の向上につながっている。 ・就職相談会を通した介護事業所への就職実績がある。 ・事業者への運営指導時に、前回の指導事項を踏まえ、利用者へのサービス提供の内容を見直し、こまめに状態変化の記録も残し、より質の高いサービスの提供が行われている事例が確認できた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-②-1						
３．施策	健康に関する気づきの推進						
４．目指す姿	・区民一人ひとりが自らの健康を意識し、より良い健康状態の実現に向けて行動できている。						
５．評価責任者	健康部長						
６．施策関連課	地域保健課、国民健康保険課、高齢者医療年金課、高齢者福祉課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	早期の気づきと生活習慣の改善					
	取組状況①	・健康診査（特定・長寿・福祉）やがん検診の受診勧奨の実施 ・健康診査受診者への保健指導、生活習慣病予防事業の実施					
	取組方針②	がん検診受診率の向上と受動喫煙のない環境づくりの実現					
	取組状況②	・対象者全員へのがん検診受診チケット発送による受診機会の周知 ・禁煙を希望する方への禁煙外来治療費助成事業の実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	特定健診受診率【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	35.0（2023年度）	目標値	38.0	39.0	40.0	41.0	42.0
		実績値	34.9				
		達成率	91.8%				
	指標② 成果指標	「がん・生活習慣病等に関する正しい知識を得ることができ、がん検診や各種検診が受けやすい環境にある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	46.9	目標値	55.0	55.5	56.0	56.5	57.0
		実績値	49.7				
		達成率	90.4%				
	達成状況分析						
	指標①特定健診は、国保加入者の減少に伴い受診率が低下傾向にある。8年度に未受診者受診勧奨事業を実施、未受診者の傾向に応じたタイプ別の勧奨資材を発送、さらなる受診率向上を図ることで早期の気づきを促し、指標①②ともに目標値達成を目指す。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	①特定健診受診後のサポート（保健指導・糖尿病予防）が充実しているとともに、利用しやすい仕組みになっているか ②特に家庭内における望まない受動喫煙の減少及び健康寿命の延伸に効果的な取組を実施できているか					
	具体的な事例	①特定健診→特定保健指導→糖尿病重症化予防まで一連の支援を実施している。中でも特定保健指導は面接のほか電話、メール、土曜日対応など働く世代が受診しやすい工夫や、積極的な受診勧奨により、23区中で実施率第2位を誇っている。 ②喫煙者が減少することによって、健康寿命が延伸すると考えられる。禁煙外来治療費助成制度の助成額は通常5,000円だが、妊婦や18歳未満の者を含む世帯の場合は20,000円を助成することで、特に受動喫煙防止につながる制度としている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-②-2						
３．施策	こころと体の健康づくりの推進						
４．目指す姿	・バランスの良い食生活や運動習慣など、健康的な生活習慣が定着し、性別やライフステージに応じた健康づくりが充実している。 ・こころの健康への理解が促進され、周囲の方による支え合いが進んでいる。						
５．評価責任者	健康部長						
６．施策関連課	保健予防課、健康推進課、長崎健康相談所						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	ライフステージに応じた健康づくりの充実					
	取組状況①	・男性の生活習慣病予防健診と女性の骨太健診を毎月実施 ・民間企業と連携した健康測定会や歯と口腔の健康のための歯科教室の開催 ・女性のための健康教室や専門職による健康相談・随時相談を実施 ・若い女性への働きかけとして乳幼児健診において母親の骨密度測定及び食事相談を実施					
	取組方針②	こころの健康への理解促進と相談しやすい体制づくり					
	取組状況②	・普及啓発として精神保健福祉講演会や精神保健福祉ボランティア講座、こころまつりを開催 ・自殺うつ予防対策としてゲートキーパー・心のサポーターを養成、相談窓口の周知などを実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「健康づくり支援が充実していて、心身の健康に気をつけて生活できている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	30.0	目標値	32.0	34.0	36.0	38.0	40.0
		実績値	29.2				
		達成率	91.3%				
	指標② 成果指標	区民の65歳健康寿命【歳】 ※65歳健康寿命…65歳の人が要支援認定を受けるまでの平均的な年齢				令和７年度達成状況 （上段：男性） （下段：女性）	B：一定程度達成 A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	男性80.72（2022年）	目標値	80.92	81.02	81.12	81.22	81.25
		実績値	80.78				
		達成率	99.8%				
	女性82.80（2022年）	目標値	82.85	82.87	82.89	82.91	82.93
		実績値	82.93				
		達成率	100.1%				
	達成状況分析						
	①令和7年度周知を工夫し、若年層の健康診査や女性の健康相談受診者数が前年度より増加した。食事に気を付けている人の割合や運動習慣のある人の割合は目標値に達しているものの指標の目標値達成には至らなかった。 ②若年層の健康診査やライフステージに応じた健康づくりの取組により、男性と女性で差があるものの、いずれも現状値から数値は良化した。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	①健康に関心を持ち、運動や食事などの健康習慣が定着し、健康的な生活を送ることができているか。 ②ボランティアや心のサポーターが地域で活動できているか。					
	具体的な事例	①健康づくり拠点で自分のこねかた（こころ・眠り・からだ・たべもの）を楽しく学ばれている区民の姿がある。自身の健康に関心を持ち、食べ方から口腔衛生やかかりつけ歯科医へと関心も高まっている。 ②精神保健福祉ボランティア講座を受講した方が、こころまつりで実際にボランティアとして活動いただく機会があり、生き生きと暮らされている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-②-3						
３．施策	健康危機管理の強化						
４．目指す姿	・感染症のまん延防止や食中毒予防の体制が強化され、安心して住み続けられる。 ・まち全体で熱中症予防のための対策が講じられ、夏季も健康を保つことができる。						
５．評価責任者	健康部長						
６．施策関連課	保健予防課、生活衛生課、健康推進課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	感染症予防及びまん延の防止					
	取組状況①	・感染症まん延防止のため、各種検査・相談、療養支援の実施 ・各種予防接種の助成、接種勧奨　・新型インフルエンザ等対策行動計画の改定					
	取組方針②	飲食店等の食中毒対策					
	取組状況②	・HACCPに沿った衛生管理導入・定着支援及び食中毒防止のため、食品取扱施設の監視指導(HACCPとは工程上の危害を分析し、事故防止を図る管理手法) ・事業者及び消費者に対し食中毒予防、食品衛生に関する講習会を実施					
	取組方針③	熱中症予防のための注意喚起					
	取組状況③	・区ホームページ、広報、SNS、デジタルサイネージ、としま情報スクエアでの啓発を実施 ・乳幼児健診や成人健診、わたしメンテラボなど各事業において、リーフレット配布					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「感染症や食中毒等に不安を感じることが少ない」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	37.9	目標値	39.0	40.0	41.0	42.0	43.0
		実績値	37.5				
		達成率	96.2%				
	指標② 成果指標	定期予防接種（A類）平均接種率【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	88.1（2023年度）	目標値	89.0	89.5	90.0	90.5	91.0
		実績値	90.1				
		達成率	101.2%				
	達成状況分析						
	①感染症や食中毒予防の普及啓発を行ったものの、指標を改善させるほどの成果にはつながらなかった。引き続き、感染症の流行状況や食中毒発生状況に応じた情報発信を行い、指標達成を図りたい。 ②乳幼児健診や就学時健診等の機会を捉えて、接種の確認・勧奨等の取組により、目標値の達成につながったものと考える。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	①感染症流行時に、段階に応じた対策がとれたか。感染者が安心して療養できたか ②講習会を受講した人がどの程度まで理解を深めることができたか ③熱中症予防策の情報を得た人がどのくらい理解して、積極的に予防策をとっているか					
	具体的な事例	①社会福祉施設等で感染症流行を把握した際に、まん延防止体制等を確認し、必要に応じて調査訪問や指導を行った。 ②講習会後のアンケートで、内容に関して理解できたと肯定的に回答している受講者は多く、事業者の衛生管理への導入・支援につながった。 ③熱中症の注意喚起の記事をみた区民より、内容について意見をいただくなど関心の高さがうかがえた。子どもの熱中症予防について健康教育を行った際、知識を習得し実践している保護者がほとんどであった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち						
２．№	3-②-4						
３．施策	地域医療体制の充実						
４．目指す姿	・多職種連携の在宅医療提供体制により、区民が住み慣れた地域で、自分らしく健康に暮らし続けることができている。 ・大規模災害時においても、医療機能が確保され、医療救護活動が円滑に実施できている。						
５．評価責任者	健康部長						
６．施策関連課	地域保健課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	四師会及び地域医療・福祉機関との連携による安定した医療の提供					
	取組状況①	・四師会等の地域医療従事者で構成される在宅医療連携推進会議を設置 ・急変時の一時的な入院先として在宅療養後方支援病床確保事業を実施					
	取組方針②	災害時にも迅速かつ適切に医療を受けられる災害医療体制の構築					
	取組状況②	・四師会や区内病院等と連携した災害医療訓練の実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「誰もが身近な場所で適切な医療サービスの提供を安心して受けられる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	47.4	目標値	49.6	49.8	50.0	50.2	50.4
		実績値	47.1				
		達成率	95.0%				
	指標② 成果指標	医療救護活動従事者登録数【人】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	202（2023年度）	目標値	210	215	220	225	230
		実績値	183				
		達成率	87.1%				
	達成状況分析						
	指標①豊島区は人口10万人あたりの一般診療所数が約144箇所あり、東京都及び区西北部平均に比べて突出して多く、本指標における肯定的な評価の割合も横ばいで維持できている。今後、医療の質がさらに向上していくことで、より区民の安心感につながっていくと考えられる。 指標②現状値を下回った要因は登録期間満了に伴う自然減であるが、今後は関係機関とも連携し、登録の維持・拡大に努める。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	多職種連携により、医療だけでなく福祉的支援が必要な区民にも適切に対応できたか。					
	具体的な事例	社会福祉協議会のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）から、長期間受診がなくサービス拒否等により介入も難しい方の受診方法等について、在宅医療相談窓口に相談があった。生活困窮状況や難病を抱えているという事情を踏まえ、生活福祉課や保健所とも連携をとって対応した結果、生活保護の受給が決定し、医療機関の受診もCW（ケースワーカー）と相談しながら対応していくこととなった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち						
２．No.	4-①						
３．施策	地域文化・伝統文化の継承と発展						
４．目指す姿	・地域の文化資源が適切に保存され、持続的に活用されることで、区民一人ひとりが地域の伝統文化や地域文化に誇りと愛着を持っている。						
５．評価責任者	文化スポーツ部長						
６．施策関連課	文化事業課、産業振興課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	歴史的文化財の継承と魅力発信					
	取組状況①	・「豊島長崎の富士塚」美観維持に補助金交付 ・郷土資料館公式X、Instagramにて資料、作品、有形文化財（建造物）の魅力発信					
	取組方針②	地域文化・伝統文化の担い手づくり					
	取組状況②	・長崎獅子舞の太鼓修理や、道行きに際し、補助金を交付 ・近隣の小学校が参加するなど教育委員会と連携し支援					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	郷土資料館・雑司が谷旧宣教師館・鈴木信太郎記念館・トキワ荘通り昭和レトロ館の来館者数【人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	97,099（2023年度）	目標値	108,000	114,000	120,000	127,000	134,000
		実績値	109,874				
		達成率	101.7%				
	指標② 成果指標	「歴史的財産である文化財や文化資源が大切に保存・活用されている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	45.5	目標値	46.4	47.2	48.1	49.1	50.0
		実績値	45.5				
		達成率	98.1%				
	達成状況分析						
	①雑司が谷旧宣教師館ではクリスマスなどの年中行事をデコレーション展示とし、ハンドベルコンサートなど新規イベントを企画・実施。それらを公式Ｘ・Instagramで発信により目標値を上回ることができた。 ②肯定的な評価の割合が計画策定時と変化がないのは、文化財の保存事業が目に見える形で進んでいないためと思われる。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	各館で実施されるイベントを通じて、区民が地域文化や伝統文化を身近に感じているか。					
	具体的な事例	連続講座「豊島区史を読む」（全3回）では37名の参加、延べ110人の参加があり、アンケートでは、来年度の継続を要望する声が多い。また、親子向けのワークショップも夏休みの宿題対策や芸術文化を身近に感じる機会として好評を得ている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち						
２．№	4-②						
３．施策	文化芸術への参加・創造の機会の創出						
４．目指す姿	・区民の誰もが良質で多彩な文化芸術に触れ、様々な形で文化活動に参加し、心豊かに文化的な生活を送ることができる。						
５．評価責任者	文化スポーツ部長						
６．施策関連課	文化企画課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	文化鑑賞機会や文化活動の裾野の拡大					
	取組状況①	・区立劇場・ホールの維持管理及び設備保守を適切に行い、区民が安全かつ良質な環境で文化芸術に触れられる基盤を確保 ・誰もが文化芸術に参加できる機会を広げるため、８年度開始予定の「誰もが参加できるインクルーシブ文化事業」を予算化					
	取組方針②	―					
	取組状況②	―					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「文化芸術に触れる機会が多くなった」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	38.0	目標値	40.1	42.4	44.8	47.3	50.0
		実績値	35.7				
		達成率	89.0%				
	指標② 成果指標	区立劇場、ホールの年間来場者数【万人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	40.9（2023年度）	目標値	44.0	45.7	47.4	49.1	50.9
		実績値	45.2				
		達成率	102.7%				
	達成状況分析						
	・「文化芸術に触れる機会が多くなった」と回答した区民の割合は35.7%で、目標値40.1%を下回った。文化の日コンサート及び菅野祐悟コンサートのアンケート回答者のうち、区民は15.3%にとどまっており、区外からの来場者割合が高い傾向がある。貸館公演では、公演回数および公演内容により平均入場者数が増加した。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	文化芸術に触れる機会の少ない層（障害者や子ども等）や子育て世帯に必要な情報が届いているか。また、文化事業は参加しやすい方法で実施されているか。					
	具体的な事例	としま文化の日イベントに関する参加者アンケートによると、未就学児が参加できるイベントは一定の需要があり、今後も実施を希望する声が多く聞かれた。また、イベントをどこで知ったかについては「広報としま」などの紙媒体から知ったとの声が多く、ＳＮＳ等の電子媒体による広報にはまだ余地があると考えられる。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち						
２．№	4-③						
３．施策	学習活動の支援を通じた生涯学習の推進						
４．目指す姿	・いつでもどこでも自分に合った方法で学べる環境が整い、多様な学びの機会が広がっている。 ・学びの成果を地域活動に生かし、学びと活動の循環（わ）が生まれることで、地域コミュニティが活性化し、新しいアイデアと活力に満ちた変化が実現している。						
５．評価責任者	文化スポーツ部長						
６．施策関連課	生涯学習・スポーツ課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	生涯学習の「場」の整備					
	取組状況①	・地域文化創造館では、年間を通じて生涯学習講座などを実施、講座をきっかけに、サークル活動につながり、学びの入り口となった ・子どもの学びの場として地域文化創造館やみらい館大明で自習室等を実施					
	取組方針②	ネットワーク構築と学習成果の発信					
	取組状況②	・学習の成果として、生涯学習関連施設での文化祭や発表会への参加や展示 ・学びの成果を地域に還元し、学習活動をしている人と人、人と活動、活動と活動がつながる機会を創出					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「地域文化創造館で実施している事業に参加したことがある」と回答した人の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	40.5（2023年度）	目標値	41.5	42.0	42.5	43.0	43.5
		実績値	40.4				
		達成率	97.3%				
	指標② 活動指標	学習成果の発表機会数【回】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	386（2023年度）	目標値	435	460	485	510	535
		実績値	584				
		達成率	134.3%				
	達成状況分析						
	指標②学習成果の発表機会数については、新たに生涯学習フェスティバルを開催して利用団体に協力を仰ぐなど、積極的に機会数を広げていくことで、目標を大幅に達成できている。しかし、地域文化創造館の認知度が低いため、指標①は横ばいにとどまっている。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	学びの循環（わ）によって地域コミュニティが活性化したか					
	具体的な事例	地域文化創造館の文化祭では、各団体が創意工夫を凝らした展示や発表を行い、それに興味を持った来場者がサークルや団体に参加するなど、学びの循環（わ）が広がっている。 としまコミュニティ大学では、継続して学びを深めるマナビト生が自主的にコミュニティを立ち上げ、より深い学びを追及するなど、生涯学習が地域コミュニティの活性化に繋がっている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち						
２．No.	4-④						
３．施策	多様な役割を持つ新たな図書館の実現						
４．目指す姿	・図書館が、本の貸出・閲覧の場としてだけでなく、居場所や交流の場を含め、誰もがそれぞれのスタイルで快適に利用できる文化振興、生涯学習及び地域コミュニティの拠点となっている。 ・図書館を通じて、子どもの読書活動や区民の学習活動がより活発となっている。						
５．評価責任者	教育部長						
６．施策関連課	図書館課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地域の情報センター、読書活動・学習活動のハブとして図書館の整備					
	取組状況①	・子どもの読書に関する講習会を2回実施（延べ132名が参加） ・点字図書館の対面朗読サービスを89回実施					
	取組方針②	居場所、交流、創造の場としての図書館の整備					
	取組状況②	・おしゃべり自由のラウンジやテラス席のほか、中学生以下の子どもを対象にした3Dプリンターを備えた新上池袋図書館の整備（Ｒ8.6月開館）					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	図書貸出数【冊】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2,057,234（2023年度）	目標値	1,970,000	1,900,000	2,020,000	2,260,000	2,300,000
		実績値	1,962,610				
		達成率	99.6%				
	指標② 成果指標	図書館来館者数【人】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	1,512,313（2023年度）	目標値	1,530,000	1,530,000	1,650,000	1,920,000	2,000,000
		実績値	1,469,317				
		達成率	96.0%				
	達成状況分析						
	令和７年度は改築・改修のため上池袋図書館が休館していることもあり、全体の貸出数及び来館者数が大きく減ったが、開館している一館当たりの貸出数及び来館者数は例年どおりの数字を維持している。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	図書館と学校の交流が活性化し、学校教育を支える連携が深まっているか。					
	具体的な事例	図書館司書が学校を訪問し、団体貸出や授業に必要な資料提供などを行うことで、教員のニーズに応じたきめ細かな支援につながっている。また、日常的なやり取りを通じ、学校と図書館の相談しやすい関係が築かれ、授業の充実や児童・生徒の学びを支えている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	豊かな心と活発な交流を育む多彩な文化のまち						
２．No.	4-⑤						
３．施策	生涯を通じたスポーツ活動の推進						
４．目指す姿	・区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実を図り、スポーツを通じて人と地域がいきいきと輝いている。						
５．評価責任者	文化スポーツ部長						
６．施策関連課	生涯学習・スポーツ課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	誰もがスポーツに親しめる環境整備					
	取組状況①	・区立体育施設において指定管理者と連携し、トップアスリートとの交流事業をはじめとした多様なスポーツプログラムを実施 ・体育施設使用料の免除や子どもの遊び場開放など、スポーツに参加しやすい環境づくりを推進 ・総合体育場の改築に向け、工事期間中の代替施設の確保について検討					
	取組方針②	子どもから高齢者、障害者がスポーツに親しむことができる機会の充実					
	取組状況②	・民間企業やスポーツ推進委員、体育施設指定管理者など多様な主体と連携しながら各種スポーツイベントを実施 ・令和7年10月1日に東京ヴェルディとの連携協定を締結し、「インクルーシブサッカーフェスタ」や「サッカー公式戦区民招待」、「マルチスポーツ体験会」などを実施 ・東京都初開催されたデフリンピックの機運醸成イベントを実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	24.4	目標値	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0
		実績値	22.4				
		達成率	89.6%				
	指標② 成果指標	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】				令和７年度達成状況	C：未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	3,568（2023年度）	目標値	4,250	4,500	4,750	5,000	5,250
		実績値	2,555				
		達成率	60.1%				
	達成状況分析						
	企画調整段階で、一部事業が実施に至らなかったことに加えて、事業の内容や魅力を効果的に発信できなかったため目標値を下回ったと考えられる。今後は、民間事業者との連携強化や事業内容の充実、情報発信の強化により、多様な区民がスポーツに参加する機会を創出することで目標達成を目指す。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	スポーツの力を活用して地域コミュニティの醸成や地域交流の促進が図れたか。 スポーツ活動に関する意識や行動変容は見られたか。					
	具体的な事例	東京ヴェルディ選手と区民が一緒に池袋駅周辺の清掃活動をするイベント参加者より「選手と交流したことで、試合観戦で応援したい気持ちが強くなった」「選手に会えることをきっかけに社会参画ができて良かった」など、スポーツに関する行動変容、社会参画意識向上がみられた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち						
２．№	5-①						
３．施策	中小企業の経営力強化と起業・スタートアップの支援						
４．目指す姿	・多角的なビジネス支援により、持続的な経営力を誇る企業が輩出されている。 ・起業やスタートアップを支える環境が整い、豊島区の産業をけん引する企業が続々と誕生している。						
５．評価責任者	産業観光部長						
６．施策関連課	産業振興課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	経営基盤の強化と多角的なビジネス支援					
	取組状況①	ビジサポセミナー実施（全3回）：参加者延べ68名 ビジサポ窓口相談：3,396件　中小企業支援補助金：311件					
	取組方針②	起業・スタートアップ等の支援					
	取組状況②	「女性のための起業塾」実施：参加者22名 起業家交流会の開催（全3回）：参加者延べ93名					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	融資あっせん件数【件】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	1,132（2023年度）	目標値	1,177	1,200	1,224	1,248	1,272
		実績値	1,493				
		達成率	126.8%				
	指標② 成果指標	区内新設法人数【件】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	1,457（2023年度）	目標値	1,460	1,470	1,480	1,490	1,500
		実績値	1,495				
		達成率	102.4%				
	達成状況分析						
	金融機関と連携し、様々な媒体で区制度融資の積極利用を促したことで、融資の申込件数およびあっせん件数が増となった。また起業希望者のニーズに対応するため、R6年度から特定創業プログラムの対象となる創業セミナーを拡充したことが、区内で起業する法人数の増に寄与した。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	としまビジネスサポートセンターが、区内中小企業の経営力向上に資する役割を担うことができているか。					
	具体的な事例	経営力強化を目的としたビジサポセミナーの参加者より「補助金活用方法について学ぶことができた」「費用をかけずに創意工夫で売上アップした事例が参考になった」という声があり、各回で高い満足度を得ている。また、経営相談窓口においては、集客に苦戦する事業者に対しSNS活用事例をアドバイスするなど、販路拡大に関する課題解決の一助となった事例もあり、当センターは区内企業の経営力向上に対して一定の役割を果たしていると考えられる。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち						
２．№	5-②						
３．施策	持続可能な商店街に向けた活性化支援						
４．目指す姿	・商店街が核となり、誰もが楽しめ活気がある、地域コミュニティの形成が進んでいる。						
５．評価責任者	産業観光部長						
６．施策関連課	産業振興課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	デジタル化や人材育成による持続可能な商店街づくり					
	取組状況①	・商店街等が実施した販売促進事業経費の一部を助成（3事業） ・担い手確保の為商店街の空き店舗を活用した新規事業者への補助（3事業）					
	取組方針②	商店街のにぎわい向上支援					
	取組状況②	・商店街等が実施したイベント事業経費の一部を助成 （37商店街 54事業　延64件）					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	商店街イベント事業来場者数【万人】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	183（2023年度）	目標値	191	192	193	194	195
		実績値	151				
		達成率	79.1%				
	指標② 成果指標	「商店街を訪れた国内外の人々が困ることなく街歩きを楽しめる環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	25.5	目標値	25.8	26.0	26.2	26.4	26.6
		実績値	27.6				
		達成率	107.0%				
	達成状況分析						
	商店街イベント事業来場者数は、近年の猛暑による外出控えの影響等により前年度および目標値よりも低い結果となったが、商店街街路灯等整備に係る補助の積極的な周知を行い、商店街が活用したことにより、街歩きを楽しめる環境が整っているかについて肯定的な回答をする来街者は増加し、目標を達成した。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	商店街が観光の目的地となり、更に来街者が増えてより一層賑わう商店街となっているか。					
	具体的な事例	商店街における外国人経営の店舗や外国人観光客が増加しており、商店街でも積極的に海外やインバウンド客に目を向けることが必要ではないかとの声が上がる等、商店街の外国人誘致に対する意識が向上している。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち						
２．№	5-③						
３．施策	観光資源の活用による地域経済の活性化						
４．目指す姿	・区内各地の多彩な観光資源を生かし、国内外から多くの人々を惹きつけることでにぎわいにあふれ、地域経済に好循環をもたらしている。						
５．評価責任者	産業観光部長						
６．施策関連課	観光課、マンガ・アニメ・トキワ荘振興課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	区内各地の観光資源を生かした誘客促進					
	取組状況①	フラフェスタやふくろ祭り等の地域観光イベントの支援、トキワ荘マンガミュージアム運営や池袋ハロウィンコスプレフェス等のマンガ・アニメ・コスプレ文化を活かした事業の実施					
	取組方針②	地域経済に好循環をもたらす観光消費額の拡大					
	取組状況②	ナイトライフ観光やIKEBUSを活用した観光回遊事業の通年実施、地域観光イベントでの友好都市による物産展の実施、姉妹都市との広報連携による相互往来促進事業の実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	訪都外国人旅行者における池袋への訪問割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	24.1（2023年度）	目標値	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0
		実績値	26.5				
		達成率	106.0%				
	指標② 成果指標	「豊島区を魅力ある観光地として他人に紹介できる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	31.9	目標値	33.0	34.0	35.0	36.0	37.0
		実績値	31.8				
		達成率	96.4%				
	達成状況分析						
	インバウンド旅行者数の急増もあって母数となる来街者数は増加していると見ており、池袋の訪問割合も上昇している。区・都・民間の連携事業だけでなく、民間主催の事業も含めて、様々なイベント企画・情報発信による成果と考えられる。一方で、指標②は微減しているため、各観光事業の企画強化や、引き続き観光協会等の企業・団体と連携し、誘客促進のための取組強化が必要である。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	区内各地の観光消費が拡大し、地域経済の活性化につながっているか。					
	具体的な事例	池袋インバウンド推進協力会等との意見交換において、ホテルの宿泊稼働率や、商業施設の売上状況など、各企業において実績が好調との声を聞いている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち						
２．№	5-④						
３．施策	観光情報の発信強化と受入環境の整備						
４．目指す姿	・魅力的な観光情報が多くの人々に迅速に届き、来街者にとって観光の利便性が高く、誰もが快適に過ごすことができる。						
５．評価責任者	産業観光部長						
６．施策関連課	観光課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	旅行前（旅マエ）の様々なターゲットに届く発信強化					
	取組状況①	・観光協会が実施する情報発信事業の支援、観光課公式Instagramの運営、区内大学と連携した外国語マップの作成					
	取組方針②	旅行中（旅ナカ）の受入環境整備					
	取組状況②	・池袋東口観光案内所の運営を強化するため、窓口での多言語対応や、企業連携イベント、民間観光案内所との連携強化策を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「区内を訪れた国内外の人々に満足いただける受け入れ環境が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	19.2	目標値	19.5	20.0	20.5	21.0	21.5
		実績値	19.8				
		達成率	101.5%				
	指標② 成果指標	池袋東口観光案内所の来館者数【人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	8,847（2023年度）	目標値	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000
		実績値	21,950				
		達成率	104.5%				
	達成状況分析						
	池袋東口観光案内所は、多言語対応や地域企業との連携強化などにより、運営が改善され、来館者数が大幅に増加した。また、鉄道会社等の民間観光案内所との連携を強化し、観光案内の質の向上に努めており、引き続き来街者の受入環境を整備していく。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	来街者の区内滞在における満足度が向上し、再訪意欲につながっているか					
	具体的な事例	池袋東口観光案内所では、来館者のニーズに合わせた区内の案内に努め、「様々相談できて旅行客におすすめ」「スタッフが外国語に対応していて熱心で親切」など、利用者アンケートにおけるお客様の満足度は非常に高い。観光案内所に限らず、WebやSNSなど様々な媒体を通して、より多くの旅行者を区へ惹きつけ、おもてなし、再訪につなげていく。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	活気とにぎわいを生みだす産業と観光のまち						
２．№	5-⑤						
３．施策	消費者教育の推進と消費生活相談の充実						
４．目指す姿	・一人ひとりの消費者が消費者被害に巻き込まれず、安心して暮らしている。 ・消費者自らが、社会、経済、地球環境や将来の子どもたちのことを考えて、責任を持った消費行動をとれている。						
５．評価責任者	産業観光部長						
６．施策関連課	産業振興課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	多様な消費者への消費者教育の推進					
	取組状況①	・消費生活に関する講座の実施 56回、消費者教育用教材（リーフレット）の配布 ・小学生(6年生) 1,673冊・中学生(3年生) 1,036冊					
	取組方針②	相談員のレベルアップと関係機関との連携強化					
	取組状況②	・国が指定する研修への参加　延べ31回 ・消費生活相談件数 2,678件、多重債務等弁護士相談件数 19件					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	各消費生活講座（消費生活講座、出前講座、出前寄席、出張講座）の参加人数【人】				令和７年度達成状況	S：大きく達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	935（2023年度）	目標値	960	970	980	990	1,000
		実績値	1,400				
		達成率	145.8%				
	指標② 成果指標	「専門知識をもった相談員が親身に消費相談に乗ってくれる体制が整っている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	6.0	目標値	6.5	6.5	7.0	7.0	7.5
		実績値	5.2				
		達成率	80.0%				
	達成状況分析						
	指標①の消費生活講座については、子供から高齢者、高齢者の見守り者を対象とした講座など、内容の充実を図り、併せて実施回数を増やしたため参加人数の増となった。指標②の区民調査については、まだ目に見える形で施策の効果は現れていないが、今後も消費生活相談窓口の周知と積極的なあっせん解決など相談体制の充実を図っていく。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	被害に合わない、かしこい消費者としての意識の向上が見られるか					
	具体的な事例	被害防止啓発講座等の参加者の方々からは、「ためになった」「今後も気を付けていきたい」「周りの人たちにも伝えたい」など前向きな意見と合わせて、意識の向上が確認できた。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	共につくる地球にもひとにもやさしいまち						
２．№	6-①						
３．施策	脱炭素社会の実現						
４．目指す姿	・区民や事業者の環境問題への意識が高く、省エネルギー設備や再生可能エネルギーの導入が進み、各主体の日常生活や事業活動において脱炭素化が進んでいる。 ・暑熱軽減や雨水対策等、気候変動により生じる影響への対策等が進んでいる。						
５．評価責任者	環境清掃部長						
６．施策関連課	環境政策課、道路整備課、学校施設課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の促進					
	取組状況①	・エコ住宅・事業者普及促進費用助成の実施 ・公共施設への再生可能エネルギー電力の導入					
	取組方針②	気候変動の影響への対策推進					
	取組状況②	・区道の遮熱性舗装の実施、小学校校庭への熱交換塗料の使用 ・指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)へのマイボトル用給水機を設置					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	区内の太陽光発電設置容量【kw】				令和７年度達成状況	C：未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	8,269（2023年度）	目標値	22,189	24,251	26,314	28,376	30,438
		実績値	10,566				
		達成率	47.6%				
	指標② 成果指標	区内温室効果ガス排出量【1000t-CO2eq】 ※減目標 ※統計の都合上、R7には最新の統計数値（R5）の実績値を掲載				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	1,440（2022年度）	目標値	1,271	1,218	1,165	1,112	1,059
		実績値	1,307				
		達成率	97.2%				
	達成状況分析						
	指標①：助成金によって 541.3kW の設置が実現し、全体の増加率(15.7%)も人口が同規模の他区平均(14.9%)を上回る成果があった。 指標②：区内温室効果ガスのうちCO2の算定方法について、再生エネルギーを導入促進に向けた法律の改正があり排出量全体が減少しているが目標値には及ばなかった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	省エネ・再エネ設備導入に対する区民や事業者の関心・需要の高まり					
	具体的な事例	令和７年度エコ住宅・事業者促進費用助成金は当初の想定を上回るペースで申請があった。本来であれば令和８年３月２日まで申請を受け付ける予定であったが、令和７年１２月５日に予算の上限に達したため申請受付を終了せざるを得ないほどの状況であった。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	共につくる地球にもひとにもやさしいまち						
２．No.	6-②						
３．施策	みどりのネットワークの形成						
４．目指す姿	・高度に都市化が進んだ中でも、民有地も含め、やすらぎや潤いあるみどりが保全・創出されている。 ・都市における自然や生態系の大切さの理解が進み、自然とのふれあいや、自然を通じた交流等が進んでいる。						
５．評価責任者	環境清掃部長						
６．施策関連課	環境政策課、公園緑地課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	みどりの保全と創出					
	取組状況①	・保護樹木等せん定助成金交付等による民有地のみどりの保全 ・接道緑化等助成金交付や豊島区みどりの条例に基づく緑化によるみどりの創出					
	取組方針②	自然を通じたふれあい・交流の拡大					
	取組状況②	・区民が参加する「としま生きものさがし」を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	みどり率【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	14.1（2023年度）	目標値	14.2	14.2	14.2	14.2	14.3
		実績値	13.6				
		達成率	95.8%				
	指標② 成果指標	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	12.9	目標値	14.3	14.9	15.5	16.2	16.8
		実績値	11.9				
		達成率	83.2%				
	達成状況分析						
	指標①みどり率の実績値は令和6年度の緑被現況調査時の値で、建替え等による既存樹木の伐採により樹木被覆地が減少したことによるみどり率の低下と分析している。令和7年度としては豊島区みどりの条例に基づく緑化計画の届出により、60件5,102㎡（完了実績）の新規の緑地が創出している。 指標②自然を通じたふれあい・交流などの取り組みを実施しているが、区民の意識を変容するほどの効果はまだ表れていないと推測される。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	環境教育や啓発の実感と行動変容					
	具体的な事例	環境交流ツアーのうち、丸太切り体験は子どもに人気があり、9割を超える参加者から高い満足度を得ている。一方で、ツアー等のイベントに未参加の区民等への働きかけが課題となっており、企業や学校などと連携してイベント等の機会を活用し、行動変容につながる環境を考える機会を確保する。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	共につくる地球にもひとにもやさしいまち						
２．№	6-③						
３．施策	省資源・循環型社会の形成						
４．目指す姿	・持続可能な循環型社会を実現するために、区民・事業者が生産・消費・廃棄において、リデュース(Reduce)・リユース(Reuse)の優先的実践と、質の高いリサイクル(Recycle)の３Rを推進している。 ・区民一人ひとりが責任をもって行動し、ごみを適正に分別し排出している。						
５．評価責任者	環境清掃部長						
６．施策関連課	ごみ減量推進課、豊島清掃事務所						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	３Rのさらなる推進と先進的な取組の展開					
	取組状況①	・３Rに関する情報発信の実施（冊子、区HP、SNS、多言語対応、ごみ分別アプリ、出前講座等） ・民間事業者と協定を結び、ごみとして排出する前にリユースを働きかける仕組みを構築					
	取組方針②	適正分別・適正排出の取組					
	取組状況②	・分別ルールの徹底や排出マナーの順守についての情報発信の実施（冊子、HP、SNS、ごみ分別アプリ、集積所看板のＱＲコードによる多言語案内等） ・不法投棄防止のため、不適正排出者に対する指導の実施 ・リチウム蓄電池の集積所回収の事業検討、提案を行い、令和８年度から事業開始					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	区民１人あたりの１日あたりのごみ量【g】 ※減目標				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	472（2023年度）	目標値	470	469	468	466	465
		実績値	441				
		達成率	106.3%				
	指標② 成果指標	「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	65.6	目標値	66.0	66.5	67.0	67.5	68.0
		実績値	65.3				
		達成率	98.9%				
	達成状況分析						
	取組方針①のとおり、３Ｒの推進のため、様々な手法での情報発信を実施。加えて、近年外国人人口が増加しているため、情報発信の多言語対応を併せて実施。また、取組方針②のとおり、適正分別・適正排出の取組を行った結果、指標①の区民１人あたりの１日のごみ量の達成率が100%を上回った。指標②については、特に繁華街における飲食店等の事業系ごみの排出に関する課題、オーバーツーリズム、民泊利用者による分別・排出方法に関する新たな課題等があり、関連部署と対応にあたっているが完全解決には至っていないため、街がきれいに保たれていると思う区民の割合は目標値に達することができなかった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	円滑なごみの収集					
	具体的な事例	・出前ごみ収集の実施 高齢者や障害者等の世帯がごみの搬出が困難な場合、地区の収集曜日に合わせて自宅玄関先まで可燃ごみを取りに行く出前ごみ事業を実施している。集積所収集と別途実施することにより、円滑なごみ収集に寄与している。利用者からは感謝の言葉をいただいている。また、出前ごみ収集日に長期間ごみの搬出がない世帯については、安否確認も兼ねて担当ケアマネに連絡を入れており高齢者、介護部門と連携を図っている。 区内集積所23,387箇所　出前収集376世帯（令和7年度末）					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

<table>
<tr><td>１．まちづくりの
方向性</td><td colspan="8">共につくる地球にもひとにもやさしいまち</td></tr>
<tr><td>２．№</td><td colspan="8">6-④</td></tr>
<tr><td>３．施策</td><td colspan="8">良好な生活環境の保全</td></tr>
<tr><td>４．目指す姿</td><td colspan="8">・区民一人ひとりの環境美化意識が高まり、クリーンな地域環境が保たれ、安全で快適に過ごすことができている。</td></tr>
<tr><td>５．評価責任者</td><td colspan="8">環境清掃部長</td></tr>
<tr><td>６．施策関連課</td><td colspan="8">環境保全課</td></tr>
<tr><td rowspan="4">７．取組方針に
対する
具体的な
取組状況</td><td>取組方針①</td><td colspan="7">地域美化の推進</td></tr>
<tr><td>取組状況①</td><td colspan="7">・路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールによる注意指導を実施
・喫煙場所の整備や清掃活動等によるポイ捨て防止の啓発を実施</td></tr>
<tr><td>取組方針②</td><td colspan="7">事業者への指導や周知啓発による環境の改善</td></tr>
<tr><td>取組状況②</td><td colspan="7">・事業者へのVOC（揮発性有機化合物）対策を記載したリーフレット等啓発物の配布を実施
・VOC取扱事業場への立入検査及び改善指導を実施</td></tr>
<tr><td rowspan="11">８．施策の指標
達成状況</td><td>指標①
成果指標</td><td colspan="4">「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくきれいである」について肯定的な回答をする区民の割合【%】</td><td>令和７年度
達成状況</td><td>B：一定程度達成</td></tr>
<tr><td>計画策定時
現状値</td><td>計画期間の
達成状況</td><td>R7
（2025）</td><td>R8
（2026）</td><td>R9
（2027）</td><td>R10
（2028）</td><td>R11
（2029）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">39.1</td><td>目標値</td><td>39.2</td><td>39.4</td><td>39.6</td><td>39.8</td><td>40.0</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>38.0</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>達成率</td><td>96.9%</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>指標②
成果指標</td><td colspan="4">事業場からのVOC（揮発性有機化合物）の排出量【kg】
※減目標</td><td>令和７年度
達成状況</td><td>A：達成</td></tr>
<tr><td>計画策定時
現状値</td><td>計画期間の
達成状況</td><td>R7
（2025）</td><td>R8
（2026）</td><td>R9
（2027）</td><td>R10
（2028）</td><td>R11
（2029）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6,298
（2023年度）</td><td>目標値</td><td>6,212</td><td>6,169</td><td>6,126</td><td>6,084</td><td>6,042</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>5,506</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>達成率</td><td>111.4%</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">達成状況分析</td></tr>
<tr><td colspan="8">・指標①では、各取り組みの成果がまだ表れていないが、今後、池袋駅周辺の喫煙所整備や清掃活動、マナー周知等の取り組みを重点的かつ継続して行うことで、改善を見込む。
・指標②は、特にVOC取扱い量の多い事業場に対する立入指導を継続して行っている成果が表れ、目標値を達成した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">９．定性的評価
（指標に表れない評価）</td><td>評価の視点</td><td colspan="7">環境美化活動等の普及啓発を行うことで、区民の美化意識が浸透したか</td></tr>
<tr><td>具体的な事例</td><td colspan="7">・区が行っている清掃用具の貸し出しは頻繁に申し込みがある。
・区内の団体が自主的な環境美化活動を実践することを目的とした「としまクリーンサポーター」の登録数は毎年増加しており、登録団体等が事業所近辺の清掃を行ったり、ごみゼロウィークやごみゼロデーなどのイベントに参加したりするなど、美化意識が徐々に高まっている。</td></tr>
<tr><td>１０．備考</td><td colspan="8"></td></tr>
</table>

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	共につくる地球にもひとにもやさしいまち						
２．No.	6-⑤						
３．施策	人にも地球にもやさしい行動の促進						
４．目指す姿	・区民一人ひとりが環境を自分事として考え、行動できる土壌が形成されている。 ・区民・事業者の連携により環境への取組が広がっている。						
５．評価責任者	環境清掃部長						
６．施策関連課	環境政策課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	未来の担い手への環境教育の推進					
	取組状況①	・環境教育支援プログラムの実施 ・各種環境講座・啓発イベントの実施					
	取組方針②	環境行動力の向上と連携の推進					
	取組状況②	・「デコ活」の周知・啓発、企業等と連携したイベントの実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	環境教育支援プログラム実施回数（累計）【回】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	43（2023年度）	目標値	147	199	251	303	355
		実績値	140				
		達成率	95.2%				
	指標② 成果指標	「環境にやさしいライフスタイルを実施している」と回答する区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	83.5（2023年度）	目標値	86.8	87.4	87.9	88.4	88.9
		実績値	74.6				
		達成率	85.9%				
	達成状況分析						
	指標①令和7年度より新たな企業に出前授業を実施いただくなど、授業内容の幅を広げたことで目標相当程度の達成につながった。 指標②取組状況①②のとおり令和７年度も様々な環境教育や啓発活動を実施した。一方で環境アンケートでは、気候変動への適応策（植物を育てるなど）に取り組む際、作業負担を課題と答えた回答者が全体の55%を占めていた。これにより、目標値に到達できなかったと推測される。今後はこうした課題の検討を続け、周知方法などについて改善を進める。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	さまざまな主体との連携による環境意識の啓発					
	具体的な事例	2025としまエコライフフェアは過去最大規模での開催となった。次世代の環境を担う若者である区内の中高生や大学生が自ら研究し提案したブースを初出展するなど、様々な主体とともに環境意識の啓発を行い、未来の担い手への環境教育の推進・環境行動力の向上と連携の推進に繋げている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	誰もが居心地の良い歩きたくなるまち						
２．№	7-①						
３．施策	地域の特性を生かした都市づくり						
４．目指す姿	・地域の特性を踏まえた、安全・安心かつ、快適な暮らしと魅力・活力のあるまちとして、区民が誇りや愛着を持つことができる幸福度の高い都市となっている。						
５．評価責任者	都市整備部長						
６．施策関連課	都市計画課、地域まちづくり課、道路整備課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	「人」が主役の都市づくり					
	取組状況①	民間による都市再生における広場や歩行者空間等の施設整備を進めている。					
	取組方針②	特色ある地域の創出とつながりの強化					
	取組状況②	立教通りは地域の特色を活かした道路景観や歩行者空間の拡大、無電柱化、グリーンインフラの整備を進めている。					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「地域特性にあわせたまちづくりが進み、快適な街並みが生まれている」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	30.5	目標値	37.5	39.0	40.5	42.0	43.5
		実績値	28.9				
		達成率	77.1%				
	指標② 活動指標	地区計画の区域面積【ha】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	368.0（2023年度）	目標値	368.0	369.0	369.0	369.0	369.0
		実績値	368.0				
		達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	達成状況分析						
	指標①に関しては、施設整備の更新の進度が緩やかであること、デジタルサイネージ等の新たな施設の増加等が実績値の伸び悩みに影響していると考えられる。建設費高騰などの要因もあり建物の機能更新が思うように進まない状況であるが、都市再生が活発な池袋駅周辺地域において、地区計画を変更することにより、更なる機能更新を誘導していくことで、成果指標の目標を達成する。 指標②に関しては、地区計画を伴う市街地再開発事業が着実に進捗していることがわかる。							
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	新たな潮流（LEDビジョンやデジタルサイネージ等の設置）に対して良好な景観誘導が図られているかどうか					
	具体的な事例	近年、LEDビジョンやデジタルサイネージの設置が増えており、それに伴い区民からの否定的な意見を受けている。これを受けて、令和7年度に課題の抽出および整理を行い、令和8年度より2カ年かけて豊島区景観計画の改定に取り組み、デジタルサイネージ等の設置基準策定に向けて検討している。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	誰もが居心地の良い歩きたくなるまち						
２．No.	7-②						
３．施策	池袋駅周辺地域の再生						
４．目指す姿	・池袋駅を中心として、様々な機能（「文化芸術」、「観光」、「商業」、「業務」、「住宅」、「宿泊」、「教育」等）が融合し、国内外の多様な人を呼び込み、にぎわいと活力が生み出されている。						
５．評価責任者	都市整備部長						
６．施策関連課	都市計画課（池袋駅周辺まちづくり担当課長、都市再生担当課長、ウォーカブル推進担当課長）						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	ウォーカブルな都市空間の形成					
	取組状況①	・池袋駅東口駅前再編整備計画の検討、北デッキ整備条件の整理 ・池袋駅東口地区まちづくり協議会運営、事業化検討支援					
	取組方針②	公民連携によるまち全体の魅力向上					
	取組状況②	・IKEBUKURO LIVING LOOPの実施:4・5・6月の各1日、11月の3日間 ・Hareza池袋エリアマネジメント協議会開催:令和8年3月18日開催					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「池袋周辺で、新宿、渋谷などにない魅力あるまちづくりが進んでいる」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	B：一定程度達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	43.4	目標値	51.0	54.0	57.0	59.0	61.0
		実績値	40.0				
		達成率	78.4%				
	指標② 成果指標	エリアマネジメントの団体数【団体】				令和７年度達成状況	C：未達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	2（2023年度）	目標値	3	3	3	4	5
		実績値	2				
		達成率	66.7%				
	達成状況分析						
	池袋駅周辺においては、池袋駅西口地区の再開発事業等が都市計画決定されるなど、事業が着実に進んでいる一方で、新宿・渋谷など駅周辺の工事に着手している地域と比べ、目に見える変化が分かりづらいことから、指標①の数値が減少したものと考える。指標②については、池袋エリアプラットフォームとも連携し、新たな設立に向けた協議を進めているが、設立予定の再開発事業が事業中などのため、新たに設置できた団体数としては横這いとなった。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	池袋駅周辺地域にて様々なにぎわい活動を行うことで、魅力あるまちづくりが持続・発展しているか					
	具体的な事例	・池袋駅西口地区では、再開発とあわせて駅前広場等の再編を計画している。南池袋二丁目C地区では、北街区が竣工を迎え、令和９年度の全体竣工に向けた工事を実施している。また、東池袋一丁目地区においても、解体工事が順調に進むなど、都市空間の形成に向けた事業を着実に行っている。 ・エリアマネジメント活動への多様な主体の参画を促すために、歩行者空間活用の社会実験として、池袋エリアプラットフォームが主催のイベント「IKEBUKURO25」を開催した。さらにグリーン大通りにおいては、「IKEBUKURO LIVING LOOP」などの賑わい創出に資する活動を継続的に実施してきており、これらの取り組みにより魅力あるまちづくりを進めている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	誰もが居心地の良い歩きたくなるまち						
２．№	7-③						
３．施策	交通安全対策の推進						
４．目指す姿	・交通安全の気運醸成と、歩行者や自転車の道路交通環境の整備が進み、安全で快適に移動できる街となっている。						
５．評価責任者	土木担当部長						
６．施策関連課	道路管理課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	新たなモビリティに対応した交通安全の機運醸成					
	取組状況①	・電動キックボードやモペット、自転車事故等について、SNS含む多様な広報媒体による多言語化した広報活動の実施 ・警察等と連携した研修会の開催等					
	取組方針②	誰もが使いやすい駐輪場の整備					
	取組状況②	・「第三次豊島区自転車等の利用と駐輪に関する総合計画」を策定 ・総合計画で掲げた整備方針に基づき、駐輪場整備計画を策定中					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	年間（1月～12月）の区内の自転車乗用中の交通事故発生件数【件】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	307（2023年度）	目標値	300	290	280	270	260
		実績値	262				
		達成率	112.7%				
	指標② 成果指標	交通安全研修会（子育て世代・高齢者研修会）等への参加人数【人】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	1,037（2023年度）	目標値	1,045	1,050	1,055	1,060	1,065
		実績値	1,114				
		達成率	106.6%				
	達成状況分析						
	いずれの成果指標においても、目標を大きく上回った。特に道路交通法改正に伴う自転車の青切符制度開始により関心と機運が高まる中、区と警察、交通安全協会等の地域連携による交通安全啓発活動が功を奏したものと考える。引き続き、着実に事業を進めていく。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	地域と連携し進める交通安全周知啓発活動や、子育て世代や高齢者向けの研修会等を通じた、区民の交通安全への理解度や反応。区や警察への具体的な要望等による交通安全機運の醸成。					
	具体的な事例	高齢者向けの研修会参加者より、「警察署によって説明が様々で参考になるため、複数の区民ひろばの研修会に参加している」、「研修会で配布された反射材等を日常的に活用している」との感想を得ている。					
１０．備考							

令和７年度（令和８年度実施）　施策評価表

１．まちづくりの方向性	誰もが居心地の良い歩きたくなるまち						
２．№	7-④						
３．施策	魅力ある公園づくり						
４．目指す姿	・近くに好きな公園があり、子どもから高齢者まで、区民が「自分たちの公園」として活用している。 ・公園のリノベーションが進み、地域ごとに特徴のある公園が利活用されている。						
５．評価責任者	土木担当部長						
６．施策関連課	公園緑地課						
７．取組方針に対する具体的な取組状況	取組方針①	地域の特徴を生かした公園づくり					
	取組状況①	・南長崎六丁目児童遊園改修工事において、さくら小学校児童にアンケート調査を実施、意見を施設へ反映					
	取組方針②	地域の人々に愛され、親しまれる公園を育てる					
	取組状況②	・みどりの協定による花壇づくりを実施 ・活用協定により自主的な維持管理活動を実施					
８．施策の指標達成状況	指標① 成果指標	「近くに好きな公園がある」について肯定的な回答をする区民の割合【%】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	40.7	目標値	41.2	41.7	42.2	42.7	43.2
		実績値	41.4				
		達成率	100.5%				
	指標② 活動指標	公園活用協定やみどりの協定等を締結し、公園等で利活用を行う団体数【団体】				令和７年度達成状況	A：達成
	計画策定時現状値	計画期間の達成状況	R7（2025）	R8（2026）	R9（2027）	R10（2028）	R11（2029）
	54（2023年度）	目標値	58	60	62	64	66
		実績値	75				
		達成率	129.3%				
	達成状況分析						
	令和７年度は、大きな改修工事がなかったこともあり、「近くに好きな公園がある」は目標値をやや上回る状況に止まったが、公園の美化や維持管理に興味がある区民が増加傾向にあるため、維持管理活動を行う団体数は大幅に増加し、目標値を大きく上回った。						
９．定性的評価（指標に表れない評価）	評価の視点	・子どもを含めた区民の意見を傾聴することで、区民ニーズに合った公園・緑化行政を実施しているか。					
	具体的な事例	・子どもレターで夏は暑すぎて外遊びができないとの意見があったため、親水（水に親しむ）施設やミスト、樹木やよしずなどで影のできる公園を大幅に増やすなど積極的に整備した。					
１０．備考							